

第5次 留萌市子どもの読書活動推進計画

〔令和8年度～令和11年度〕



すくすく伸ばそう読書の芽

留萌市教育委員会

目 次

第1章 子どもの読書活動推進のための基本的な考え方	1
1 計画策定の目的	1
2 基本理念	2
3 計画の期間	2
4 計画の体系	2
第2章 子どもの読書活動の現状と課題	3
1 子ども読書計画の現況	3
2 「第4次計画」における検証と課題	4
第3章 子どもの読書活動推進の方策	7
《推進項目1》家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進	7
(1) 家庭・地域における子どもの読書活動の推進	7
○現状と課題	7
○推進方策・取組項目・取組内容	8
○担当課等における取組方針	11
(2) 学校等における子どもの読書活動の推進	12
○現状と課題	12
○推進方策・取組項目・取組内容	13
○担当課等における取組方針	14
《推進項目2》子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備	15
(1) 市立留萌図書館の整備・充実	15
○現状と課題	15
○推進方策・取組項目・取組内容	16
○担当課等における取組方針	17
(2) 学校図書館の整備・充実	17
○現状と課題	17
○推進方策・取組項目・取組内容	18
○担当課等における取組方針	18
(3) 子どもの読書活動推進に係る体制の整備	19
○現状と課題	19
○推進方策・取組項目・取組内容	19
○担当課等における取組方針	20
第4章 留萌市子どもの読書活動推進計画事業一覧	21
《資料1》子どもの読書活動の推進に関する法律	23
《資料2》「るもい市子ども読書アンケート調査」実施結果	25

第1章 子どもの読書活動推進のための基本的な考え方

1 計画策定の目的

国は、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を定め、“すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書を行うことができるよう”、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第一次）」を策定し、以降、令和5年3月には「第五次基本計画」を策定しました。

北海道も同様に、平成15年11月に「北海道子どもの読書活動推進計画（第一次計画）」が策定され、令和5年3月には「第五次計画」が策定されています。

また、令和元年6月には、障がいの有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現を目的として「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）が制定されるなど、障がいのある方々の、生涯を通じた多様な学習を支援する環境づくりが求められています。

本市においては、国や道の計画を受け、平成16年2月に「留萌市子どもの読書活動推進計画」（第1次推進計画）、平成22年4月に第2次推進計画、平成28年7月に第3次推進計画、令和4年3月に第4次推進計画を策定し、留萌市のすべての子どもが読書に親しみ、読書習慣を身に付け、読書に喜びを感じることができるよう、『いつでも、どこでも読書ができる』環境づくりを進めるとともに、様々な取組を展開し、子どもの読書活動推進を図ってきました。

その結果、学校における朝の読書の普及やボランティアによる読み聞かせ活動、新生児への絵本の配布、市立図書館での図書館だよりの発行など、子どもの読書活動に関する取組が進みましたが、子ども世代でのスマートフォンの普及、それに伴う娯楽の多様化などによる読書離れのほか、子どもたちの図書館利用率が低いことなど、継続して取組むべき課題が残されています。

このことから、「第5次留萌市子どもの読書活動推進計画」（以下「本計画」という。）の策定にあたっては、第4次計画の目的を継承するとともに、これまでの取組の成果と課題、また、法の理念や国及び北海道の計画を踏まえ、子どもたちの自主的な読書活動を推進できるよう、関係機関と連携し、『いつでも、どこでも読書ができる』環境整備を図ってまいります。



2 基本理念

留萌市のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭・地域・学校等の連携を進め、積極的にその環境整備を図ります。

子どもたちが夢と希望を持ち、健やかに育つためには、学校における教育活動の充実はもとより、学校・家庭・地域社会が一体となり、子どもの生活全体を見守り、生活体験、社会体験など様々な活動を経験させ、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育むために、それぞれの発達段階に即した環境づくりが求められています。

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであり、読書活動を通して、生涯にわたり学び続けるという習慣を身に付けることも重要となっています。

一方、子どもたちを取り巻く環境は、スマートフォンを所持している子どもの増加や、GIGAスクール構想による1人1台端末の配置など、社会全体のICT環境が大きく進むなかで、放課後の時間の使い方のうち、勉強時間も含め、デジタルメディアを利用する時間が多くを占めているなど、子どもたちの読書離れのさらなる進行が危惧される状況であることから、電子図書館の利活用の検討など、子どもたちがおかれている環境に合わせた読書活動の推進を図る必要性があります。また、電子図書の利活用は、オーディオブック（書籍の内容を音声で聞くことができるメディア）の普及・利用促進効果も期待できるため、視覚障がいをもつ子どもにも読書活動の促進につながるといえます。

本計画は、すべての子どもが読書に親しみ、読書習慣を身に付け、読書に喜びを感じることができるよう、『いつでも、どこでも読書ができる環境』を整え、子どもの自主的な読書活動を支えるための条件を積極的に整備することを目標に、これまでの計画を引き継ぎ、施策の総合的・計画的な推進のために策定するものです。

3 計画の期間

令和8年度から令和11年度までの4年間とし、必要に応じて計画の見直しを行います。

また、計画最終年度において推進事業の検証を行い、次期計画の改善等につなげ、計画の効果的な推進に努めます。

4 計画の体系

基本理念に基づき、本計画の体系を次のとおりとします。

推進項目	重点項目
1 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進	(1) 家庭・地域における子どもの読書活動の推進 (2) 学校等における子どもの読書活動の推進
2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備	(1) 市立留萌図書館の整備・充実 (2) 学校図書館の整備・充実 (3) 子どもの読書活動推進に係る体制の整備

第2章 子どもの読書活動の現況と課題

1 子どもの読書活動の現況

第69回学校読書調査（2024年実施）では、1ヶ月に1冊も本を読まなかった児童・生徒の割合（不読率）は、小学生が8.5%、中学生が23.4%で、ともに増加傾向にあり、特に中学生については、令和3年度調査の13.4%から大幅増となっています。また、1月あたりの平均読書冊数は、小学生が13.8冊、中学生が4.1冊となっており、こちらについては概ね横ばいで推移している状況となっています。

留萌市においては、小学生の不読率が8.7%で、中学生が30.4%となり、ともに全国調査よりも高い不読率となっています。また、1月あたりの読書冊数については、小学生では「1冊から3冊」の割合が35.9%と一番高く、次いで「4冊から7冊」が32.0%となっている一方で、中学生では一番高い割合が「1冊から3冊」の49.0%、次いで「0冊」の30.4%となっており、全国調査のように平均冊数の調査ではありませんが、中学生になってからの読書離れの傾向が表われている結果となっています。

◆1ヶ月に1冊も本を読まなかった児童・生徒の割合（不読率）

		H27	R3	R6・7
小学生	全国	4.8%	6.8%	8.5%
	留萌市	9.9%	6.6%	8.7%
中学生	全国	13.2%	13.4%	23.4%
	留萌市	55.6%	33.6%	30.4%

（全国：H27、R3、R6 学校読書調査より）

（留萌市：H27、R3、R7 留萌市子ども読書アンケートより）

◆1ヶ月の平均読書冊数（全国）

		H27	R3	R6
小学生	全国	11.2冊	11.3冊	13.8冊
中学生	全国	4.0冊	4.7冊	4.1冊

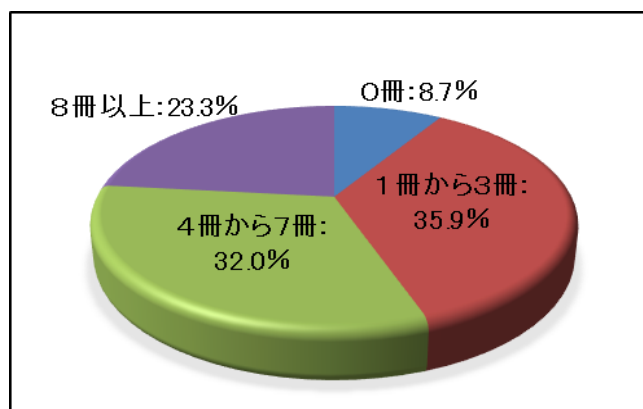
（学校読書調査より）

◆1月あたりの読書冊数（留萌市）

【小3・小6】

項目	合計	構成比
0冊	18人	8.7%
1冊から3冊	74人	35.9%
4冊から7冊	66人	32.1%
8冊以上	48人	23.3%
合計	206人	100.0%

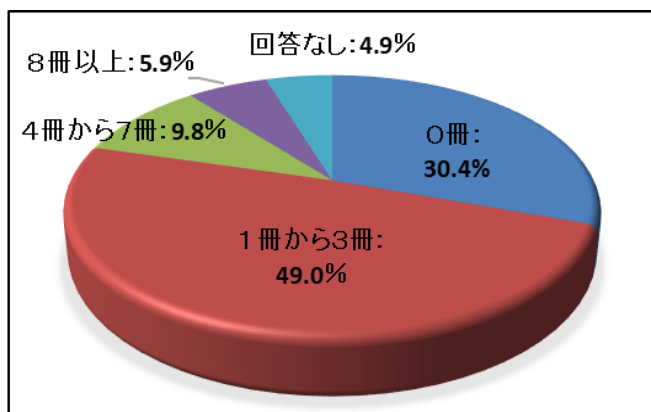
（留萌市子ども読書アンケートより）



【中学2年生】

項目	合計	構成比
0冊	31人	30.4%
1冊から3冊	50人	49.0%
4冊から7冊	10人	9.8%
8冊以上	6人	5.9%
回答なし	5人	4.9%
合計	102人	100.0%

(留萌市子ども読書アンケートより)



2 「第4次計画」における検証と課題

<第4次計画の検証>

第4次計画の体系は、2つの推進項目、5つの重点項目、13の推進方策で構成されており、各推進方策には44の取組内容が設定されています。第5次計画の策定にあたり、取組内容について所管課による自己評価を行ったところ、「達成」の評価が15項目、「概ね達成」の評価が27項目、「やや未達成」の評価が2項目、「未達成」の評価は0という結果となりました。

「やや未達成」であった「**学校図書館を活用した指導の充実**」、「**障がいのある子どもが通う施設との連携・協力**」については、第5次計画において重点的に取り組むことにより、達成度の向上につなげていきたいと考えています。

<第5次計画の課題>

第5次計画の策定にあたり、これまで同様に、市内小学3年生、6年生、中学2年生にアンケートを実施し、児童・生徒の読書活動の状況把握等を行いました。

調査の結果、学校図書館や学級文庫の利用状況については、「よく利用する」「ときどき利用する」の割合の合計が小学3年生では74.0%、小学6年生では77.5%であったのに対し、中学2年生では「よく利用する」「ときどき利用する」の合計が54.9%となっております。

同様に市立図書館の利用状況については、「よく利用する」「ときどき利用する」の割合の合計が小学3年生では、44.2%、小学6年生では36.3%、中学2年生では、41.1%となっております。

上述の1月あたりの読書冊数、学校図書館、市立図書館の利用状況の結果から、引き続き、「**中学生までの読書習慣の形成**」と「**中学生に対する読書習慣の定着**」が必要と考えます。

<第4次計画の検証で「やや未達成」だった項目>

- ・学校図書館を活用した指導の充実
- ・障がいのある子どもが通う施設との連携・協力

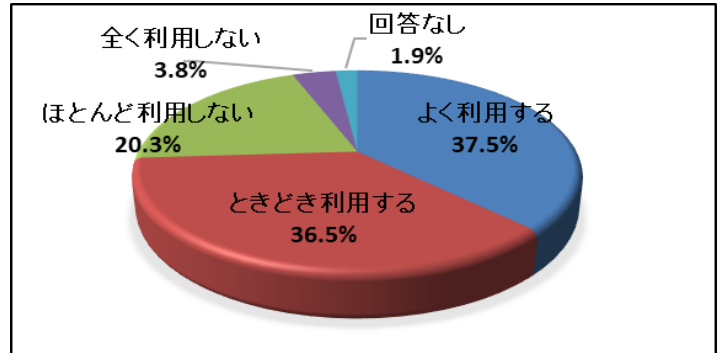
<第5次計画の課題>

- ・「中学生までの読書習慣の形成」と「中学生に対する読書習慣の定着」
- ・子ども達に市立留萌図書館を利用してもらえる環境づくり

◆あなたは学校図書館や学級文庫をどのくらい利用しますか？

【小学3年生】

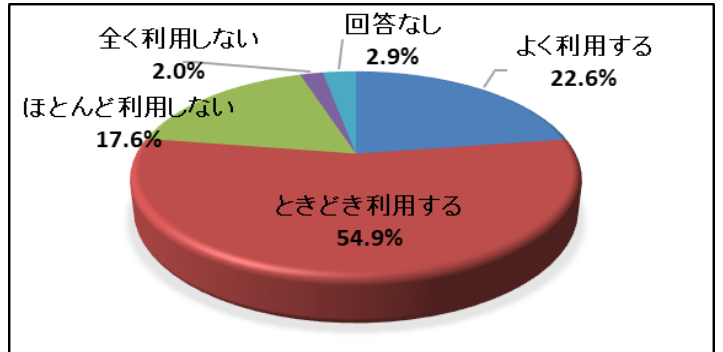
項目	回答数	構成比
よく利用する	39人	37.5%
ときどき利用する	38人	36.5%
ほとんど利用しない	21人	20.2%
全く利用しない	4人	3.9%
回答なし	2人	1.9%
合計	104人	100.0%



(留萌市子ども読書アンケートより)

【小学6年生】

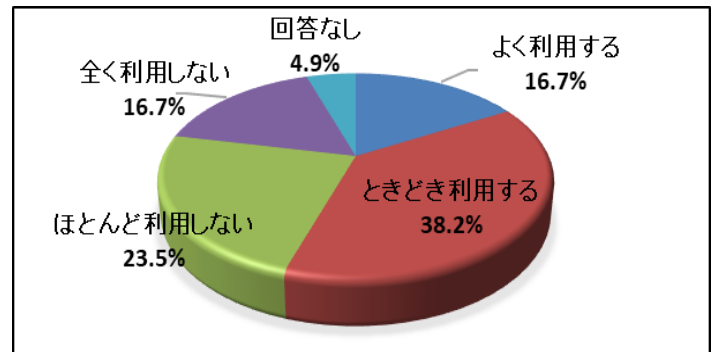
項目	回答数	構成比
よく利用する	23人	22.6%
ときどき利用する	56人	54.9%
ほとんど利用しない	18人	17.6%
全く利用しない	2人	2.0%
回答なし	3人	2.9%
合計	102人	100.0%



(留萌市子ども読書アンケートより)

【中学2年生】

項目	回答数	構成比
よく利用する	17人	16.7%
ときどき利用する	39人	38.2%
ほとんど利用しない	24人	23.5%
全く利用しない	17人	16.7%
回答なし	5人	4.9%
合計	102人	100.0%

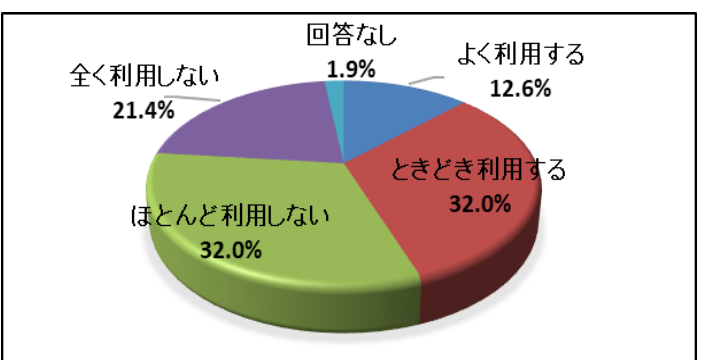


(留萌市子ども読書アンケートより)

◆あなたは市立図書館をどのくらい利用しますか？

【小学3年生】

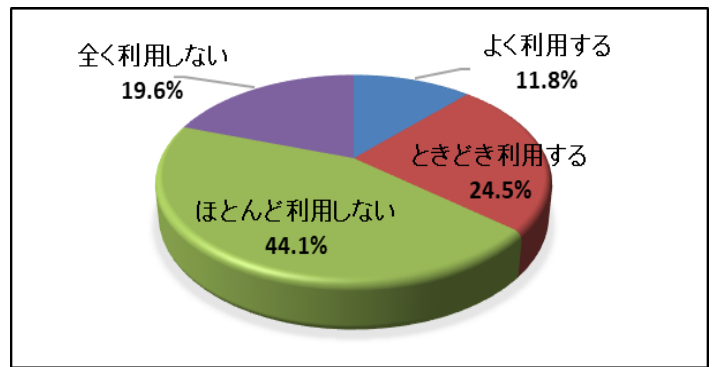
項目	回答数	構成比
よく利用する	13人	12.5%
ときどき利用する	33人	31.7%
ほとんど利用しない	33人	31.7%
全く利用しない	22人	21.2%
回答なし	3人	2.9%
合計	104人	100.0%



(留萌市子ども読書アンケートより)

【小学6年生】

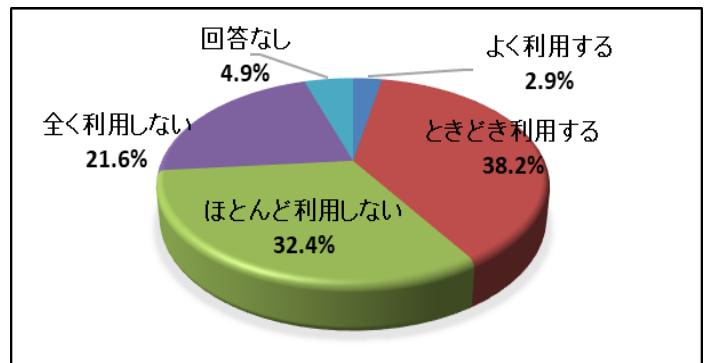
項目	回答数	構成比
よく利用する	12人	11.8%
ときどき利用する	25人	24.5%
ほとんど利用しない	45人	44.1%
全く利用しない	20人	19.6%
回答なし	0人	0.0%
合計	102人	100.0%



(留萌市子ども読書アンケートより)

【中学2年生】

項目	回答数	構成比
よく利用する	3人	2.9%
ときどき利用する	39人	38.2%
ほとんど利用しない	33人	32.4%
全く利用しない	22人	21.6%
回答なし	5人	4.9%
合計	102人	100.0%



《参考》

●学校図書館図書貸出冊数(冊)

	R2	R3	R4	R5	R6
小学生	17,831	26,066	18,229	16,683	13,579
中学生	955	1,002	1,063	1,017	1,479

(留萌市学校図書館貸出状況調査より)

●学校図書館年間一人当たりの貸出冊数(冊)

	R2	R3	R4	R5	R6
小学生	22.6	32.8	25.5	24.5	21.2
中学生	2.1	2.4	2.8	2.8	4.0

(留萌市学校図書館貸出状況調査より)

●市立留萌図書館利用者数(人)

		R2	R3	R4	R5	R6
小学生	実利用人数	150人	143人	125人	132人	134人
	延利用人数	938人	857人	1,005人	758人	619人
中学生	実利用人数	45人	38人	32人	32人	31人
	延利用人数	138人	121人	119人	107人	96人

(市立留萌図書館調べ)

第3章 子どもの読書活動推進の方策

《推進項目1》 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進

重点項目(1) 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

家庭は、子どもが最初に読書と出会う場であるだけでなく、読書に対する興味や関心を培う上でも重要な役割を担っています。

特に、乳幼児期(0歳～6歳)には、読み聞かせ(※①)などを通して、親子の温かい人間関係を育むとともに、子どもの精神的な安定感や親への信頼感を養い、基本的な生活習慣や自主性・創造性を培うことが大切です。

このため、家庭における読書の大切さを啓発するとともに、地域においては市立留萌図書館が中心となって児童センターや民間団体等と連携し、読書の楽しさを知ることができるよう取組を推進する必要があります。

《現状と課題》

留萌市では、9ヵ月児健診の際に実施しているブックスタート事業(※②)や親子に対する読み聞かせ、また、幼児の頃から本への親しみを持ってもらうことを目的に、1歳6ヵ月児と3歳児の健診(各月1回実施)時に絵本を置くなどを実施しているほか、読書ボランティアの活動や市立留萌図書館と児童センターが連携した「児童センター出張おはなし会」を実施するなど、関係機関、関係施設との連携等により、家庭における子どもの読書活動の推進に努めています。

令和7年度に実施した「るもい市子ども読書アンケート」(※③)(以下「子ども読書アンケート」という。)では、「本が好き」又は「どちらかと言えば好き」の割合の合計は、小学3年生が「82.7%」、小学6年生が「74.6%」、中学2年生は「70.6%」という結果であり、全体的に「読書好き」という傾向は見てとれますが、全国的にも学年が上がるにつれて「本好き」の割合が減少する傾向が高いことから、今後においても家庭内における読書の大切さを保護者に伝えることや、学校や学校図書館、市立留萌図書館においては興味を持てる本の選定、図書館利用促進のPRなど、対策が必要となっています。

また、第69回学校読書調査(※④)における「月に0冊」のそれぞれの全国平均は、小学生(4年生～6年生)で「8.5%」、中学生で「23.4%」となっており、留萌市での調査結果では、小学生が「8.7%」とほぼ同数ですが、中学生では「30.4%」と、全国平均を上回る結果となっています。このことから、家庭内等における中学生の読書習慣の定着に向けた取組が重要となっています。

一方、「小さい頃から本をよく読んでもらったことがある子どもは本好きか」について検証したところ、「好き」又は「どちらかと言えば好き」を合わせると「78.5%」という高い割合を示しており、「よく読んでもらった」以外の回答をした子どもたちの「53.5%」と比較すると、幼い頃の読み聞かせの経験は、子どもたちの読書習慣を形成する上で、有効な動機づけとなることがわかります。

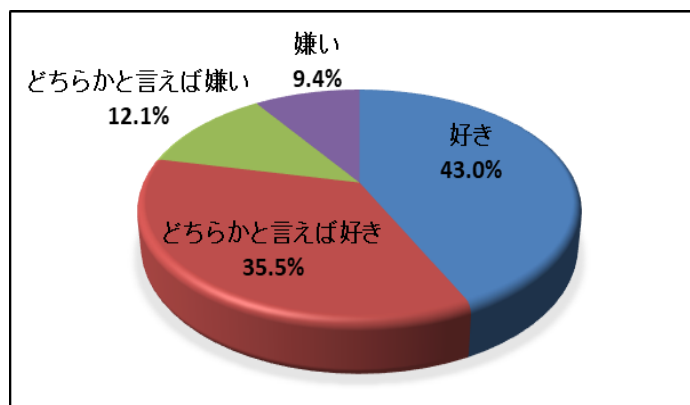
このほか、留萌ブックセンターで実施している「こどもたちによるこどものためのおはなし会」など、地域においても子どもの読書活動の推進に関する取り組みを行っています。

《参考》本をよく読んでもらった子どもは本が好き？

※「本を読んでもらったことがありますか？」との質問に対し、「よく読んでもらった」と回答をした149人を対象に調査

【小3・小6・中2】

項目	合計	構成比
好き	64人	43.0%
どちらかと言えば好き	53人	35.5%
どちらかと言えば嫌い	18人	12.1%
嫌い	14人	9.4%
合計	149人	100.0%



(留萌市子ども読書アンケートより)

《推進方策・取組項目・取組内容》

◆推進方策：① 家庭における子どもの読書活動の推進

取組項目：ア 初めての本との出会いづくり

乳幼児から親子で本に親しむ習慣をつくるため、9ヵ月児健診に参加した親子に絵本をプレゼントし、読み聞かせの大切さを伝える「ブックスタート事業」は、親子のふれあいを高めるなどの効果も報告されていることから、今後も継続します。

取組内容：ブックスタートによる親子の読書習慣づくり（図書館、保健医療課）

取組項目：イ 家庭における読書活動の推進

少ない時間でもいいから毎日「本」を読み聞かせたり、親子で一緒に市立留萌図書館に行くことや読み聞かせ会に参加することの大切さなど、保護者に対する読書活動への理解の促進に努めます。

取組内容：保護者に対する読書活動への理解の促進（図書館、保健医療課、子育て支援課）

※① 読み聞かせ

子どもたちに、本や絵本などを読んで聞かせること。子どもが物語に親しむきっかけを作り、読書の素地や動機付けを行うことを目的とする。さらに、読み手である保護者や教師、図書館職員やボランティア等が聞き手である子どもとコミュニケーションを図ることにも意義がある。

※② ブックスタート事業

9ヵ月児健診の際に、受診したすべての親子に対して、図書館職員等が本を読むことの大切さや楽しさを保護者に伝えながら、絵本や読み聞かせのアドバイスなどの入ったブックスタート・パックを手渡すもので、留萌市では平成14年6月から実施している。

※③ るもい市子ども読書アンケート

市内の小学生（3年生・6年生）及び中学生（2年生）を対象に、読書活動の状況と傾向を把握するため、令和7年6月に「るもい市子ども読書アンケート」調査を行った。（対象342名に配布、回収308名、回収率90.0%）

※④ 第69回学校読書調査

全国学校図書館協議会が、全国の小・中・高校を対象として毎年実施している調査。本計画では2024年に実施した第69回調査の数値を引用している。

◆推進方策：推進方策：② 図書館における子どもの読書活動の推進

取組項目：ア 子どもと本を結ぶ各種行事の開催

子どもと本の出会いの場として、読み聞かせやおはなし会を来館機会の多い時期に開催するなど、子どもと本を結ぶ機会の充実に努めます。また、本への興味を引き出せるよう、絵本・紙芝居・わらべ歌などを取り入れるなど、子どものニーズに合わせた行事を開催します。

取組内容：読み聞かせ、おはなし会の充実（図書館）

子どものニーズに合わせた各種行事の開催（図書館）

取組項目：イ レファレンスサービスの充実

子どもの調べ学習や読書活動を的確にサポートするために、子ども読書に関するレファレンスサービス（※⑤）の充実に努めます。

取組内容：レファレンスサービスの向上に向けた職員のスキルアップ（図書館）

取組項目：ウ ボランティアとの連携と活動支援

図書館ボランティアとの連携・協力により、読書活動に関する市民サービスの向上を図るとともに、ボランティア活動グループへの活動の場の提供や情報提供、SNSを活用した市民への活動状況の情報発信など支援に努めます。

取組内容：図書館ボランティアとの連携、ボランティアに対する活動支援（図書館）

取組項目：エ 学校単位による図書館利用の受入れ

学校の総合的な学習の時間における活用や職場体験、実習の希望を積極的に受入れ、子どもが図書館を身近に感じ、上手に利用するための機会を提供します。

取組内容：総合的な学習の時間における協力（図書館）

職場体験や実習の受入れ（図書館）

取組項目：オ 団体貸出の推進

学校や児童センター等に対し、読書を楽しむことができるように、貸出本の希望を取りながら団体貸出の推進を図ります。

取組内容：各施設に対する団体貸出の推進（図書館）

※⑤ レファレンスサービス

図書館利用者が、学習・研究・調査等のために必要な資料及び情報を求めた場合に、図書館員が図書館の資料と機能を活用して資料の検索等を援助し、資料を提供し、あるいは回答を与えるなど、利用者と資料を結びつけるサービスのこと。

◆推進方策：③ 児童センター等における子どもの読書活動の推進

取組項目：ア 多様な本と出会う機会の確保

絵本などの充実や市立留萌図書館の貸出文庫の利用を図り、子どもたちが本に接する機会を増やすとともに、平成27年度から開始した「出張おはなし会」が好評を得ていることから継続し、子どもたちに読み聞かせ等を通して、日常的に本の楽しさが伝わるよう努めます。

取組内容：絵本の充実や貸し出し文庫の利用促進（図書館、子育て支援課）

読み聞かせ等を通じた読書活動の啓発（図書館、子育て支援課）

◆推進方策：④ 「子ども読書の日」等の啓発広報

取組項目：ア 子どもの読書活動に関する理解の促進

「子ども読書の日」（※⑥）や「こどもの読書週間」における啓発事業の実施や行事情報の提供を行い、子どもの読書活動に関する市民理解の促進を図ります。

取組内容：啓発事業の実施と行事情報の提供（図書館）

取組項目：イ 各種情報の収集・提供

地域、学校、民間団体等における子どもの読書活動に関わる情報の収集を図るとともに、市の広報誌や公式LINE、ホームページによる情報発信、図書館内掲示や図書館だよりの活用、新聞社や放送局への情報提供等、様々な機会を活用して市民に広く情報を発信していきます。

取組内容：読書活動に係る情報収集・情報発信（図書館）

※⑥ 子ども読書の日

「子どもの読書活動の推進に関する法律」が平成13年に施行され、毎年4月23日を「子ども読書の日」とすることが定められた。国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために設けられた。

また、社団法人読書推進運動協議会（文部科学省所管）が、毎年4月23日から5月12日までを「こどもの読書週間」と定めて、子どもの読書活動の普及・啓発を図っている。



◆担当課等における取組方針

推進方策	取組項目	担当課等	取組方針
①家庭における子どもの読書活動の推進	初めての本との出会いづくり	図書館	・9ヵ月健診時に親子1組ずつに読み聞かせを行い、家庭での読み聞かせアドバイスなどを行います。
		保健医療課	・9ヵ月児健診時において、ブックスタート事業を図書館と一緒に取り組みます。
	家庭における読書活動の推進	図書館	・ブックスタート時に「おすすめ本リスト」等の配布や図書館利用の促進を行います。
		保健医療課	・9ヵ月児、1歳6ヵ月児、3歳児健診（各月1回実施）において、移動図書館の形で幼児の絵本を置き、幼児の頃から本への親しみをもてるよう図書館と一緒に取り組みます。
		子育て支援課	・子育て支援センター及び各児童センターにおいて、絵本や幼児・児童向け図書を常備し、読書活動を促進します。
②図書館における子どもの読書活動の推進	子どもと本を結ぶ各種行事の開催	図書館	・乳幼児向けの「おはなし玉手箱」を実施し、読み聞かせ、おはなし会の充実を図ります。 ・4月の子どもの読書週間中と12月のクリスマスに特別おはなし会を開催します。
	レファレンスサービスの充実	図書館	・職員間での情報の共有化を進めるとともに、利用者の要望に応えられるよう職員のスキルアップを図ります。
	ボランティアとの連携と活動支援	図書館	・図書館ボランティアと連携した事業を継続して実施する。また、ボランティアの減少、高齢化が進んでいることから、新たにボランティアとして参加してもらえるような働きかけを行います。 ・今後も継続してボランティアとの連携による事業を推進するとともに、活動拠点の提供、市民への活動状況等の周知を行います。
	学校単位による図書館利用の受け入れ	図書館	・調べ学習の協力などについて、継続して対応します。 ・児童、生徒の職場体験の受け入れについて、継続して対応します。
	団体貸出の推進	図書館	・「萌っ子文庫」のほか、学校（学級）単位の貸出について、継続して実施します。
③ 児童センター等における子どもの読書活動の推進	多様な本と出会う機会の確保	図書館	・子育て支援センター、児童センターへの入れ替え貸出について、継続して実施し、本に触れる機会の提供に努めます。 ・児童センターでの出張おはなし会を継続して実施し、読み聞かせの機会の提供に努めます。
		子育て支援課	・図書館の団体貸出図書を継続して活用し、定期的に図書を入れ替えることで、図書の充実に努めます。 ・図書館と連携し、児童センター等での絵本の読み聞かせを継続して実施します。
④ 「子ども読書の日」等の啓発広報	子どもの読書活動に関する理解の促進	図書館	・啓発ポスターを掲示するほか、子ども読書習慣に合わせ、特別お話し会や本の展示を実施します。
	各種情報の収集・提供	図書館	・図書館だよりやフェイスブックに新刊本を掲載するほか、ブックスタートで配布する「おすすめ本リスト」を更新します。

重点項目（２） 学校等における子どもの読書活動の推進

学校等における読書活動は、子どもが読書習慣を身に付けるために大きな役割を果たすとともに、確かな学力の基盤を形成する上で重要な役割を担っています。

また、幼児期や小学校期における良質な本との出会いは、読書に対する興味・関心を広げるものであり、中学校・高校期における読書は、自我の確立に大きな影響を与えるものと言われています。

このため、学校等においては、子どもの発達段階に応じて読書の楽しさを指導するとともに、計画的・継続的な読書活動を推進する必要があります。

《現状と課題》

市内の学校においては、これまで、様々な教育活動を通して読書活動の推進が図られてきました。

各校では、読書の習慣づけと本との楽しい出会いをつくるため、「朝の読書」(※⑦)や「教師やボランティアによる読み聞かせ」など、それぞれの特色を生かした読書活動に取り組んでおり、過去5年間をみると学校図書館ボランティア実施校やボランティア数、全校一斉読書活動の取組が着実に推進され、定着してきていることがわかります。

しかしながら、「子ども読書アンケート」では、「ひと月にほとんど本を読まない子ども(＝不読率)」は、小学3年生で「6.7%」、小学6年生では「10.8%」、中学2年生では「30.4%」と、中学生の読書離れの傾向が表れていることから、「中学生までの読書習慣の形成」と「中学生に対する読書習慣の定着」が課題となっています。

《参考》留萌市学校図書館ボランティア数の推移

項目	R2	R3	R4	R5	R6
実施学校数	7校	7校	7校	7校	7校
ボランティア数	55人	49人	44人	43人	42人

《参考》全校一斉読書活動状況

項目	R2	R3	R4	R5	R6
全校一斉読書 実施校	7校/ 7校中	7校/ 7校中	7校/ 7校中	7校/ 7校中	7校/ 7校中

※⑦ 朝の読書

始業前に10分間程度、児童生徒・教職員全員がそれぞれ自分で選んだ読みたい本を読むこと。子どものたちの「自ら学ぶ力」を育てるために行われる活動であり、原則は①みんなでやる ②毎日やる ③好きな本で良い ④ただ読むだけ の4つである。

＜推進方策・取組項目・取組内容＞

◆推進方策：① 読書習慣の確立と読書指導の充実

取組項目：ア 読書習慣の確立

子どもの読書習慣を確立させるため、「朝の読書」や「本に親しむ週間」の設定など全校一斉読書活動の継続、充実に努めます。

取組内容：「朝の読書」など全校一斉読書活動の実施（教育政策課）

取組項目：イ 自主的読書活動の支援

図書委員等による読み聞かせや読書行事の開催、また、アンケートで読みたい本の希望を取り、選書に反映させるなど、児童・生徒のアイデアを生かした自主的・実践的な活動を支援し、子どもの読書活動の充実に努めます。

取組内容：児童生徒のアイデアを生かした自主的・実践的な活動の支援（教育政策課）

取組項目：ウ 学校図書館を活用した指導の充実※第4次「やや未達成」項目

学校図書館の機能と利用の方法、図書の分類と配列、学習参考図書の利用方法など、子どもが理解を深めるように努めるとともに、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等において学校図書館を計画的に利用し、子どもの主体的・意欲的な読書活動や学習活動の充実に努めるため、図書の計画的整備に努めます。

取組内容：学校図書館機能の理解と計画的利用（教育政策課）

◆推進方策：② 家庭・地域との連携による読書活動の推進

取組項目：ア PTAや地域ボランティアとの連携

PTAや地域のボランティアとの連携により、家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進に努めます。

また、地域ボランティアの資質の向上に資するため、市立留萌図書館や関係団体と連携した研修会の開催に努めます。

取組内容：PTA等との連携による読書活動の推進（教育政策課）

◆推進方策：③ 幼稚園や保育園における読書活動の推進

取組項目：ア 多様な本と出会う機会の確保

市立留萌図書館からの団体貸出についてニーズを把握しながら継続するなど、子どもたちが本に接する機会を増やすとともに、子どもたちに読み聞かせ等を通して、日常的に本の楽しさが伝わるよう努めます。

取組内容：絵本の充実や貸し出し文庫の利用促進（図書館、子育て支援課）

読み聞かせ等を通じた読書活動の啓発（図書館、子育て支援課）

◆担当課等における取組方針

推進方策	取組項目	担当課等	取組方針
①読書習慣の確立と読書指導の充実	読書習慣の確立	教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・全校で朝読書を実施し、読書の習慣化を促進するほか、本に親しむ週間の設定や読み聞かせを実施します。
	自主的読書活動の支援	教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの希望を選書に反映させるなど、児童生徒の様々なアイデアを生かした活動の支援に取り組みます。
	学校図書館を活用した指導の充実	教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通した利活用計画や授業等で活用できる図書の計画的な整備に努めます。
②家庭・地域との連携による読書活動の推進	PTAや地域ボランティアとの連携	教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への啓発活動を継続して実施し、家庭と連携した読書活動を推進します。 ・ボランティアの減少、高齢化が進んでいることから、新たにボランティアとして参加してもらえよう働きかけを行います。
③幼稚園や保育園における読書活動の推進	多様な本と出会う機会の確保	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・申し出のあった施設に対するの貸出を継続しながら、貸出本に対するニーズ把握に努めます。 ・幼稚園や保育園による施設見学の際などに読み聞かせを行うことで、未就学児における読書活動の啓発に努めます。
		子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・各児童センターに設置している図書室などを通して、子どもたちが本に触れる機会を増やし、本の楽しさが伝わるよう努めます。 ・幼稚園や保育園に対して、直接の事業展開ができないことから、本に触れる機会を確保するよう当該法人等に働きかけを行います。



重点項目（1） 市立留萌図書館の整備・充実

市立留萌図書館は、子どもたちが学校外で本との出会いや読書を楽しむことができる中心的な場であり、子どもの読書活動の推進に大きな役割を果たしているため、様々な立場や環境にある子どもが利用できるように、多様な資料の収集に努める必要があります。

また、学校、保育園等における子どもの読書活動を支援するため、各施設と連携し、図書館資料やサービスの活用を促進するとともに、民間団体・ボランティアと協力し、子どもの読書活動の一層の充実を図る必要があります。

《現状と課題》

平成21年4月からNPO法人留萌スポーツ協会が、市立留萌図書館の指定管理者（※⑧）として、施設の管理運営業務を開始しました。以来、市民サービスの向上を図るために、定期的に市民アンケートを行い、その中で要望が多かった「祝日開館」を実現したほか、中央公民館内に「図書館の分館」（※⑨）を開設して、本館と同様の貸し出しシステムを導入するなど、市民の声を運営に取り入れた、柔軟で迅速な対応を行っています。また、留萌市においても空調設備の整備やLEDへの改修など、本を楽しむ空間づくりにも取り組んでいます。

しかし、人口減少など、社会情勢の変化による、貸出冊数や利用者数の減少傾向や、図書館へのニーズの多様化に対応するため、職員の資質向上や図書館施設の整備充実を図るとともに、関係機関や関係団体等と緊密に連携し、市全体の子どもの読書活動をより活発化していくための計画推進が課題となっています。

《参考》市立留萌図書館貸出冊数の推移

項目	R2	R3	R4	R5	R6
貸出冊数	59,014冊	49,892冊	66,151冊	61,867冊	57,619冊

《参考》市立留萌図書館貸出利用者の推移

項目	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数	13,769人	11,648人	14,499人	14,467人	13,189人

※⑧ 指定管理者

従来、公の施設の管理委託は民間事業者にはできなかったが、平成15年の地方自治法の改正により、民間においても管理運営が可能となった。市立留萌図書館においては、平成21年4月に指定管理者制度を導入した。

※⑨ 図書館の分館

市立留萌図書館の指定管理者による新たな市民サービスの一つであり、留萌市中央公民館事務室の空きスペースを「見晴分館」として、平成21年10月にオープンした。

蔵書数は約4,000冊で、本館と同様の貸出システムの導入により、本館にあるすべての図書の予約・受取・返本も可能となっている。休館日は、12月29日から1月3日までで、利用時間は午前9時から午後9時（日曜日は午後6時）。

＜推進方策・取組項目・取組内容＞

◆推進方策：① 市立留萌図書館の機能の充実

取組項目：ア 図書・資料の充実

乳幼児から青少年までの読書活動を推進するため、各年代の興味・関心や学習意欲を高める図書・資料の提供に努めるとともに、資料の充実を図ります。

取組内容：年代別に留意した図書・資料の充実（図書館）

「総合学習」、「調べ学習」のための図書・資料の充実（図書館）

取組項目：イ 施設の整備

分かりやすい館内表示を工夫するなど、利用者ニーズを把握しながら子どもや保護者が利用しやすい環境整備を目指します。

取組内容：親しみやすく、利用しやすい図書館整備（図書館）

取組項目：ウ インターネットを活用した情報の発信

インターネットでの蔵書公開・図書予約を継続するなど、子どもと本を結ぶ情報の提供とサービスの向上に努めます。

取組内容：ホームページの充実とインターネットによる予約サービスなどの情報提供の充実（図書館）

取組項目：エ 他図書館とのネットワークの充実

市立留萌図書館に所蔵していない図書等を、利用者の求めに応じて道立図書館等から借用や、道立電子図書館の利用推進など、ネットワーク化による市民サービスの向上に努めます。

取組内容：道立図書館等との連携による市民サービス向上（図書館）

◆推進方策：② 障がいのある子どもの読書環境の整備・充実

取組項目：ア 布の絵本、大活字本、点訳本、録音資料（オーディオブック）などの収集、充実

障がいのある子どもにも楽しめる資料の収集、充実を図ります。

取組内容：需要を把握し、障がいのある子供にも楽しめる資料の収集、充実（図書館）

取組項目：イ 障がいのある子どもが通う施設との連携・協力

※第4次「やや未達成」項目

障がいの程度に応じた読書活動を進めるために、関係施設との継続するなど、連携・協力体制の向上に努めます。

取組内容：関係施設との連携・協力体制の向上（図書館）

◆担当課等における取組方針

推進方策	取組項目	担当課等	取組方針
①市立留萌図書館の機能の充実	図書・資料の充実	図書館	・図書資料の充実に努めながら、分類ごとに購入冊数を管理し、年度で集計のうえ、次年度に反映させます。
	施設の整備	図書館	・利用者ニーズを把握しながら、利用しやすい図書館整備に努めます。
	インターネットを活用した情報の発信	図書館	・図書システムからの蔵書検索、行事のお知らせや予約サービスなど広く周知するとともに、システムメーカーと相談しながらサービス提供に努めます。
	他図書館とのネットワークの充実	図書館	・図書館間相互貸借による利用者の希望する本の取り寄せなど、道立図書館や道内他館との連携を継続し、利用者の要望に応じていきます。
②障がいのある子どもの読書環境の整備・充実	布の絵本、大活字本、点訳本、録音資料(オーディオブック)などの収集、充実	図書館	・需要を把握し、予算の範囲内で図書資料の充実に努めるとともに、寄贈等の機会を利用した収集に努めます。
	障がいのある子どもが通う施設との連携・協力	図書館	・施設からの要望に応じ、協力体制が図られるよう努めます。

重点項目(2) 学校図書館の整備・充実

学校図書館は、子どもたちが日常的に読書を楽しむ場であるとともに、読書活動や読書指導の場として、子どもたちの豊かな心を育み、自発的・主体的な学習活動を支援するという重要な役割を担っています。

このため、学校図書館においては、図書資料の整備・充実など、児童生徒の読書活動のセンター的な役割を果たすことが求められています。

〈現状と課題〉

市内小中学校の学校図書館における蔵書数を見ると、小学校、中学校ともに学校図書館標準(※⑩)の定める冊数を上回る蔵書数は維持できてはいますが、前述のとおり学校図書館利用率は、小学生に比べ、中学生の利用率が低くなっているため、蔵書の量の維持だけでなく、質を向上させるなど魅力ある学校図書館の整備を行うとともに、読書の動機付けを継続するなど、読書活動の支援を行うことが必要です。

また、司書担当教職員を配置するだけで終わることなく、学校図書館ボランティアや市立留萌図書館等との連携・協力を積極的に促進することが必要です。

※⑩ 学校図書館図書標準

公立義務教育諸学校における学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、平成5年に文部省(当時)が定めたもので、学校種、学級数に応じて蔵書冊数が設定されている。

《参考》

●市内小中学生の「学校図書館」蔵書状況

項目		R2	R3	R4	R5
小学生	蔵書数	43,292 冊	44,104 冊	43,213 冊	41,333 冊
	学校図書館標準の定める冊数	38,280 冊	38,280 冊	36,560 冊	35,440 冊
中学生	蔵書数	25,333 冊	25,023 冊	24,894 冊	24,675 冊
	学校図書館標準の定める冊数	18,200 冊	18,640 冊	20,800 冊	20,800 冊

(学校図書館の現状に関する調査より)

●学校図書館年間一人当たりの読書冊数(再掲)

	R2	R3	R4	R5	R6
小学生	22.6	32.8	25.5	24.5	21.2
中学生	2.1	2.4	2.8	2.8	4.0

(留萌市学校図書貸出状況調査より)

《推進方策・取組項目・取組内容》

◆推進方策：① 学校図書館の図書資料・設備等の整備・充実

取組項目：ア 学校図書館図書標準に基づく整備

子どもが読書に親しめるように、各学校における学校図書館図書標準の達成に加え、適切な図書更新に努めます。

取組内容：適切な予算確保による図書の充実(教育政策課)

◆推進方策：② 学校図書館の活用を図るための人的体制の整備

取組項目：ア 司書担当教諭の配置と教職員の協力

教育活動を通じて子どもの読書活動の充実を図り、読書習慣を身に付けさせることは、学校の重要な役割であるため、司書担当教諭を配置し、教職員や学校図書館ボランティアが協力して読書活動を進めることができる体制づくりや資質を高めるための研修機会の提供に努めます。

取組内容：司書担当教諭等の研修機会の実施と人員の確保(教育政策課)

◆担当課等における取組方針

推進方策	取組項目	担当課等	取組方針
①学校図書館の図書資料・設備等の整備・充実	学校図書館図書標準に基づく整備	教育政策課	・適切な予算を確保し、図書の充実を図ります。
②学校図書館の活用を図るための人的体制の整備	司書教諭の配置と教職員の協力	教育政策課	・司書担当教諭の研修機会の実施と、担当教員の人数確保などを働きかけます。

重点項目（3） 子どもの読書活動推進に係る体制の整備

子どもの読書活動推進のためには、読書に関わる関係機関や団体等から幅広い意見をいただき、相互に連携・協力できる体制で取り組むことが重要です。

そのため、市が中心となり、社会全体で子どもの読書活動を推進するとともに、市民の多様な意見の反映に努めます。

《現状と課題》

留萌市においては、読み聞かせなどの読書ボランティアの育成や支援体制づくりに努めてきましたが、計画の推進にあたっては、社会全体の取組が不可欠であるため、市立留萌図書館や学校図書館などの関係機関やボランティア団体等との連携・協力体制を強化し、幅広い読書普及活動を展開することが必要です。

《推進方策・取組項目・取組内容》

◆推進方策：① 市民団体・関係機関との連携・協力の促進

取組項目：ア 市民団体との連携・協力

読書活動に携わるグループ・サークルなど市民団体との連携・協力を進め、地域の読書活動を推進します。

取組内容：読書活動に関わるグループ・サークル等との連携協力

（図書館、子育て支援課、教育政策課）

取組項目：イ 幼稚園・保育園・児童センター等との連携・協力

幼稚園等との読書活動の協力や情報提供等により、子どもたちがより多くの本と出会えるよう各施設と連携・協力を図るとともに、読書活動推進のためのPRに努めます。

取組内容：幼稚園等との連携・協力と読書活動推進PR（図書館、子育て支援課）

取組項目：ウ 市立留萌図書館・学校図書館関係職員との連携・協力

三省堂書店と連携した「本のブックフェア（本の見本市）」をとおした選書の協力など、学校図書館の活性化に向けて一層の連携・協力体制の向上に努めます。

取組内容：図書館関係職員等の情報交換による連携・協力（図書館、教育政策課）

◆推進方策：② 図書館職員の研修の充実

取組項目：ア 図書館職員の研修の充実

図書館職員の能力と技術の向上を図るために、研修の充実に努めます。

取組内容：図書館職員の能力と技術の向上を図るための研修の充実（図書館）

◆担当課等における取組方針

推進方策	取組項目	担当課等	取組方針	
① 市民団体・関係機関との連携・協力の促進	市民団体との連携・協力	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・「三省堂書店を応援し隊」と連携し、図書館行事、三省堂書店のイベントで相互協力していることから、今後も市民団体等と協力、連携した取組を進めます。 	
		子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出図書の入替えなどについて地域の子育てボランティア団体や母親クラブと連携・協力して実施していることから、今後も、子育てボランティア等と連携・協力し読書環境の整備に努めます。 	
		教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館ボランティアにより、本の読み聞かせや貸出業務、書架の整理、図書館のディスプレイの工夫などの環境整備を行っていただいている。今後も学校図書館ボランティア等市民団体等と協力、連携した取組を進める。 ・ボランティアの減少、高齢化が進んでいることから、新たにボランティアとして参加してもらえよう働きかけを行う。 	
	幼稚園・保育園・児童センター等との連携・協力	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、施設見学と団体貸出を実施しているほか、各施設に図書館日より、イベント告知物を配布しています。今後も施設見学や団体貸出を通して、本に親しむ機会の提供を図るとともに、読書活動推進のためのPRを進めていきます。 	
		子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・各児童センターに図書室を設けているほか、保育所及び幼稚園においても各運営法人の事業として本の貸し出し等を行っています。今後も引き続き、本に触れる機会を増やし、読書活動のPRを行っていきます。 	
	市立留萌図書館・学校図書館関係職員との連携・協力	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、学校図書館向けに「本のブックフェア（本の見本市）」を三省堂書店と連携し開催。選書に苦慮している先生方に役立ててもらっているので、今後も継続して実施することで、学校図書館との連携・協力を図ります。 	
		教育政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館と連携し、長期貸出サービス（学級文庫）などを活用している。今後も、図書館司書の助言や研修を活かし、選書や学校図書館活性化の取り組みの推進を図ります。 	
	②図書館職員の研修の充実	図書館職員の研修の充実	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の司書会のほか、道立図書館や道内で実施される研修会に参加することで、能力と技術の向上に努めます。

第4章 留萌市子どもの読書活動推進計画事業一覧



◀ 推進項目 1 ▶ 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進

◎重点項目(1) 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

推進方策・取組項目	取組内容	担当課等
① 家庭における子どもの読書活動の推進		
ア 初めての本との出会いづくり	・ブックスタートによる親子の読書習慣づくり	図書館、保健医療課
イ 家庭における読書活動の推進	・保護者に対する読書活動への理解の促進	図書館、保健医療課、子育て支援課
② 図書館における子どもの読書活動の推進		
ア 子どもと本を結ぶ各種行事の開催	・読み聞かせ、おはなし会の充実	図書館
	・子どものニーズに合わせた各種行事の開催	図書館
イ レファレンスサービスの充実	・レファレンスサービスの充実	図書館
ウ ボランティアとの連携と活動支援	・図書館ボランティアとの連携	図書館
	・ボランティアに対する活動支援	図書館
エ 学校単位による図書館利用の受入れ	・総合的な学習の時間における活用や調べ学習への協力	図書館
	・職場体験や実習の受入れ	図書館
オ 団体貸出の推進	・各施設に対する団体貸出の推進	図書館
③ 児童センター等における子どもの読書活動の推進		
ア 多様な本と出会う機会の確保	・絵本の充実や貸出文庫の利用促進	図書館 子育て支援課
	・読み聞かせ等を通じた読書活動の啓発	図書館 子育て支援課
④ 「子ども読書の日」等の啓発広報		
ア 子どもの読書活動に関する理解の促進	・「こどもの読書週間」に合わせたおはなし会の実施	図書館
イ 各種情報の収集・提供	・子どもの読書活動に関わる情報の収集、SNSやホームページ等による情報発信	図書館

◎重点項目(2) 学校等における子どもの読書活動の推進

推進方策・取組項目	取組内容	担当課等
① 読書習慣の確立と読書指導の充実		
ア 読書習慣の確立	・「朝の読書」など全校一斉読書活動の実施	教育政策課
イ 自主的読書活動の支援	・児童生徒のアイデアを生かした自主的・実践的な活動の支援	教育政策課
ウ 学校図書館を活用した指導の充実	・学校図書館機能の理解と計画的利用	教育政策課
② 家庭・地域との連携による読書活動の推進		
ア PTAや地域ボランティアとの連携	・PTA等との連携による読書活動の推進	教育政策課
③ 幼稚園や保育園における読書活動の推進		
ア 多様な本と出会う機会の確保	・絵本の充実や貸出文庫の利用促進	図書館 子育て支援課
	・読み聞かせ等を通じた読書活動の啓発	図書館

《推進項目2》 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

◎重点項目(1) 市立留萌図書館の整備・充実

推進方策・取組項目	取組内容	担当課等
① 市立留萌図書館の機能の充実		
ア 図書・資料の充実	・年代別に留意した図書・資料の充実	図書館
	・「総合学習」、「調べ学習」のための図書・資料の充実	図書館
イ 施設の整備	・親しみやすく、利用しやすい図書館整備	図書館
ウ インターネットを活用した情報の発信	・ホームページの充実とインターネットによる予約サービスなどの情報提供の充実	図書館
エ 他図書館とのネットワークの充実	・道立図書館等との連携による市民サービス向上	図書館
② 障がいのある子どもの読書環境の整備・充実		
ア 布の絵本、大活字本、点訳本、録音資料（オーディオブック）などの収集、充実	・障がいのある子どもが楽しめる資料の収集、充実	図書館
イ 障がいのある子どもが通う施設との連携・協力	・関係施設への団体貸出等による連携・協力	図書館

◎重点項目(2) 学校図書館の整備・充実

推進方策・取組項目	取組内容	担当課等
① 学校図書館の図書資料・設備等の整備・充実		
ア 学校図書館図書標準に基づく整備	・学校図書館図書標準に基づく蔵書整備の充実	教育政策課
② 学校図書館の活用を図るための人的体制の整備		
ア 司書担当教諭の配置と教職員の協力	・司書担当教職員の配置、司書担当教職員の研修 全教職員による読書活動の推進	教育政策課

◎重点項目(3) 子どもの読書活動推進に係る体制の整備

推進方策・取組項目	取組内容	担当課等
① 市民団体・関係機関との連携・協力の促進		
ア 市民団体との連携・協力	・読書活動に携わるグループ・サークル等との連携協力	図書館、子育て支援課、教育政策課
イ 幼稚園・保育園・児童センター等との連携・協力	・幼稚園等との連携・協力と読書活動推進PR	図書館、子育て支援課
ウ 市立留萌図書館・学校図書館関係職員との連携・協力	・「本のブックフェア（本の見本市）」を通じた連携・協力	図書館、教育政策課
② 図書館職員の研修の充実		
ア 図書館職員の研修の充実	・図書館職員の能力と技術の向上を図るための研修の充実	図書館

※「教育委員会生涯学習課」は、すべての留萌市子どもの読書活動推進計画事業と連携しているため、「所管部署」からは除いています。

《資料1》 子どもの読書活動の推進に関する法律

平成13年12月12日

法律第154号

(目的)

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第2条 子ども(おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第3条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。



《資料2》 「令和7年度留萌市子どもの読書アンケート」実施結果 (小3・小6・中2)

【調査期間：令和7年6月16日～30日】

○ 調査対象者の属性及び回収率

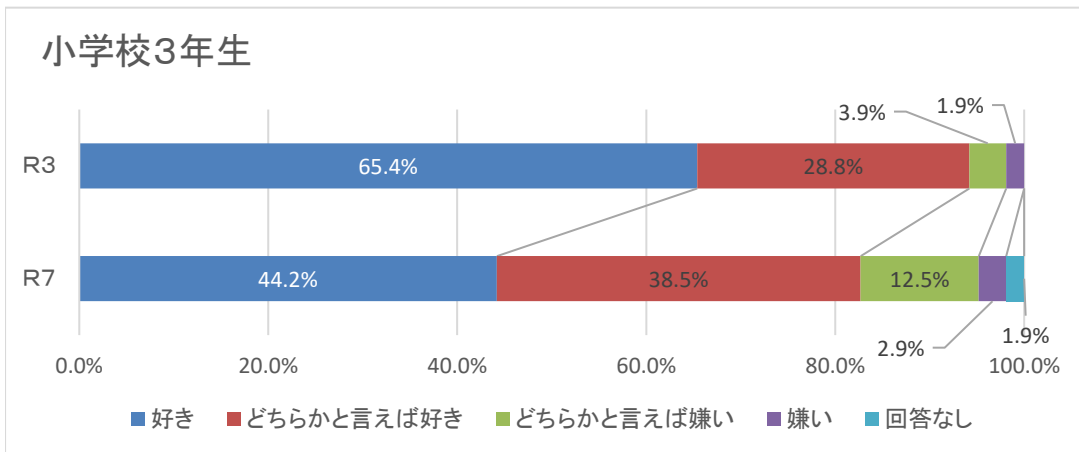
調査対象	項目	調査表配布数	回収数	今回回収率	前回回収率
小学校3年生		105人	104人	99.0%	88.9%
小学校6年生		108人	102人	94.4%	98.4%
中学校2年生		129人	102人	79.1%	91.3%

《留意事項》令和3年に「るもい市子ども読書アンケート調査」を実施した時と同様の調査対象で実施した。
なお、傾向を把握するため前回調査数値と比較している。

1 あなたは、本を読むのは好きですか？

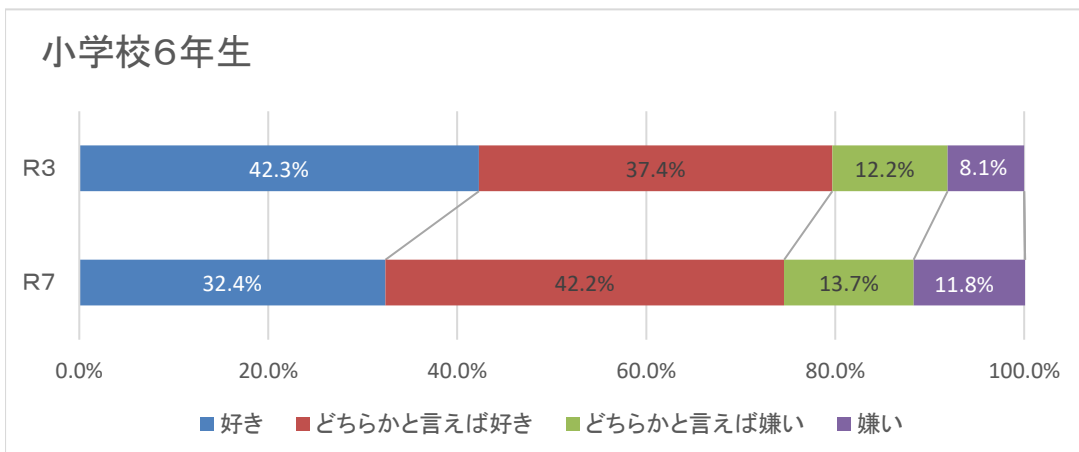
【小学校3年生】

項目	回答数	今回構成比	前回構成比
好き	46人	44.2%	65.4%
どちらかと言えば好き	40人	38.5%	28.8%
どちらかと言えば嫌い	13人	12.5%	3.9%
嫌い	3人	2.9%	1.9%
回答なし	2人	1.9%	0.0%
合計	104人	100.0%	100.0%



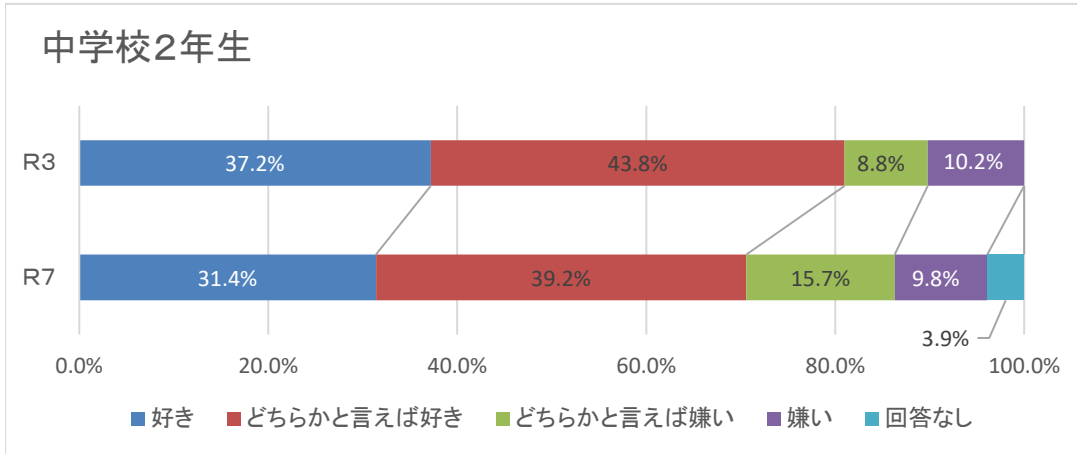
【小学校6年生】

項目	回答数	今回構成比	前回構成比
好き	33人	32.4%	42.3%
どちらかと言えば好き	43人	42.2%	37.4%
どちらかと言えば嫌い	14人	13.7%	12.2%
嫌い	12人	11.8%	8.1%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	102人	100.0%	100.0%



【中学校2年生】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
好き	32人	31.4%	37.2%
どちらかと言えば好き	40人	39.2%	43.8%
どちらかと言えば嫌い	16人	15.7%	8.8%
嫌い	10人	9.8%	10.2%
回答なし	4人	3.9%	0.0%
合計	102人	100.0%	100.0%



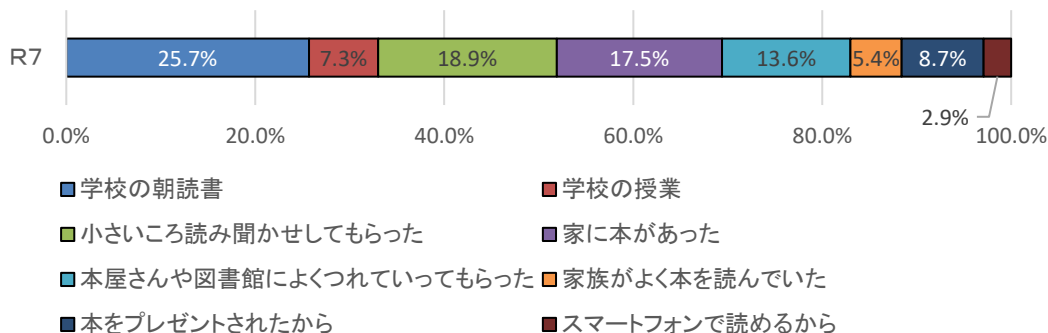
■『本を読むことが好きか』との設問には、「好き」と答えた子どもは、小学3年生では「44.2%」、小学6年生では「32.4%」、中学2年生では「31.4%」と小学生、中学生ともに減少傾向となっており、全学年において過半数を超えなかった。

■「好き」と「どちらかと言えば好き」を合わせた割合は、小学3年生では「82.7%」、小学6年生では「74.6%」、中学2年生では「70.6%」と、減少傾向にあるものの、全体的に「読書」が好きという傾向が見てとれる。

2 本を読むことが好きになったきっかけは何ですか？ **—複数回答—** ※R7年度新設
 (前の質問で「好き」または「どちらかと言えば好き」と答えた人が回答)
 【小学校3年生】

項 目	回答数	構成比
■学校の朝読書	53人	25.7%
■学校の授業	15人	7.3%
■小さいころ読み聞かせしてもらった	39人	18.9%
■家に本があった	36人	17.5%
■本屋さんや図書館によくつれていってもらった	28人	13.6%
■家族がよく本を読んでいた	11人	5.4%
■本をプレゼントされたから	18人	8.7%
■スマートフォンで読めるから	6人	2.9%
■合計	206人	100.0%

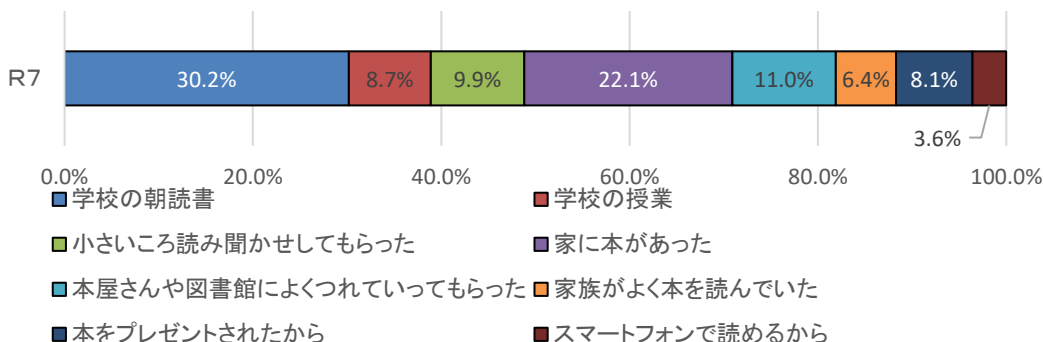
小学校3年生



【小学校6年生】

項 目	合計	構成比
■学校の朝読書	52人	30.2%
■学校の授業	15人	8.7%
■小さいころ読み聞かせしてもらった	17人	9.9%
■家に本があった	38人	22.1%
■本屋さんや図書館によくつれていってもらった	19人	11.0%
■家族がよく本を読んでいた	11人	6.4%
■本をプレゼントされたから	14人	8.1%
■スマートフォンで読めるから	6人	3.6%
■合計	172人	100.0%

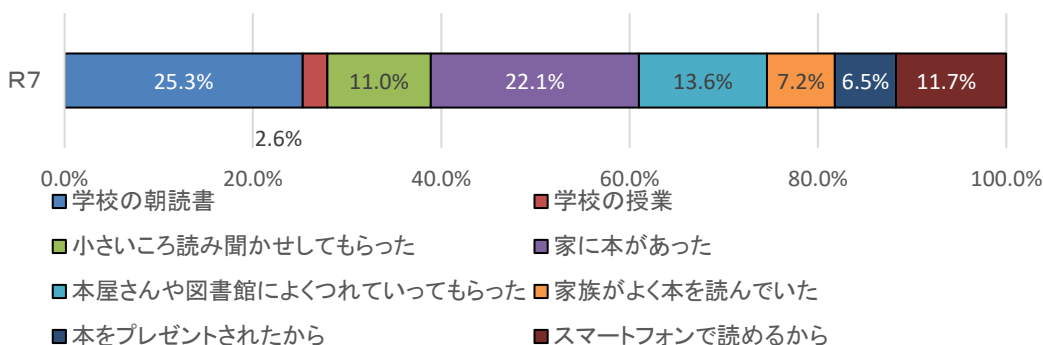
小学校6年生



【中学校2年生】

項 目	合計	構成比
■学校の朝読書	39人	25.3%
■学校の授業	4人	2.6%
■小さいころ読み聞かせしてもらった	17人	11.0%
■家に本があった	34人	22.1%
■本屋さんや図書館によくつれていってもらった	21人	13.6%
■家族がよく本を読んでいた	11人	7.2%
■本をプレゼントされたから	10人	6.5%
■スマートフォンで読めるから	18人	11.7%
■合計	154人	100.0%

中学校2年生



■本を読むことが好きになったきっかけとして、全学年を通じて、「学校の朝読書」の割合が多く、朝読書活動を継続してきた結果が出ているといえる。はじめは自主的でないとしても本を読むことに慣れさせることが、その後の自主的な読書につながると考えられる。

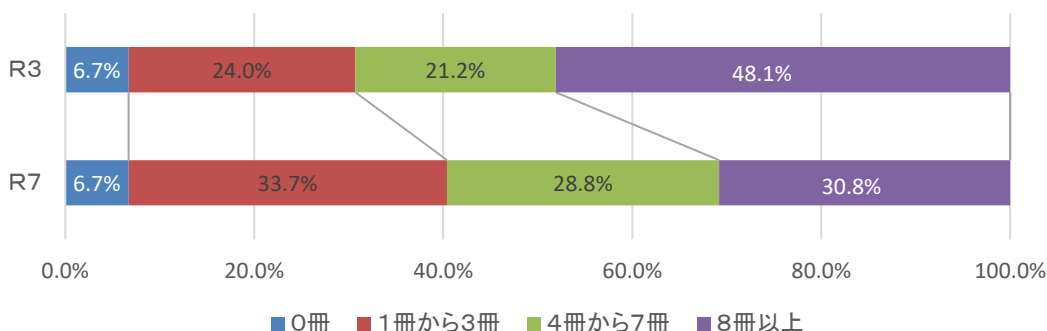
■「家に本があった」、「本屋さんや図書館によくつれていってもらった」という回答も全学年で多く、逆に「家族がよく本を読んでいた」という回答は少ないため、家族の読書習慣の有無が与える影響よりも、身近に本があるといった環境が与える影響の方が大きいと考えられる。

3 あなたは、ひと月平均で、何冊の本（マンガを除く）を読みますか？

【小学校3年生】

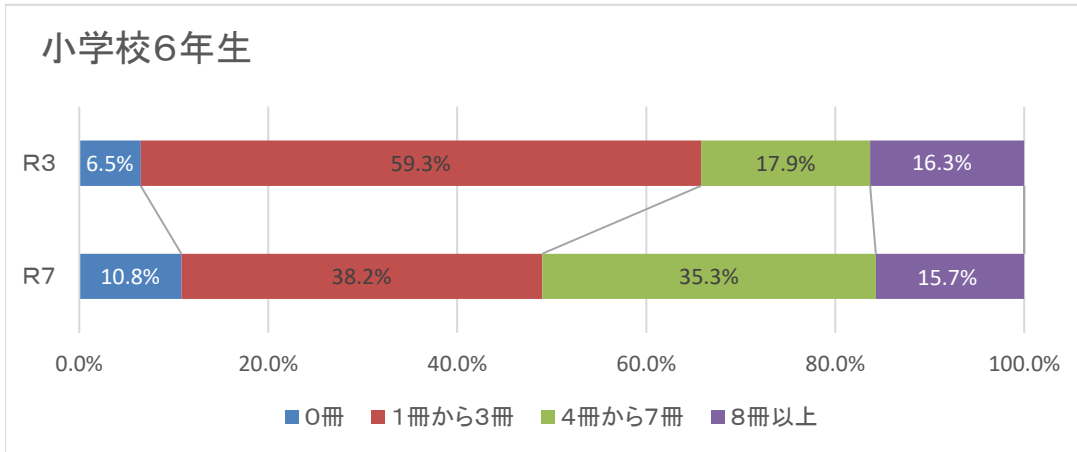
項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
0冊	7人	6.7%	6.7%
1冊から3冊	35人	33.7%	24.0%
4冊から7冊	30人	28.8%	21.2%
8冊以上	32人	30.8%	48.1%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	104人	100.0%	100.0%

小学校3年生



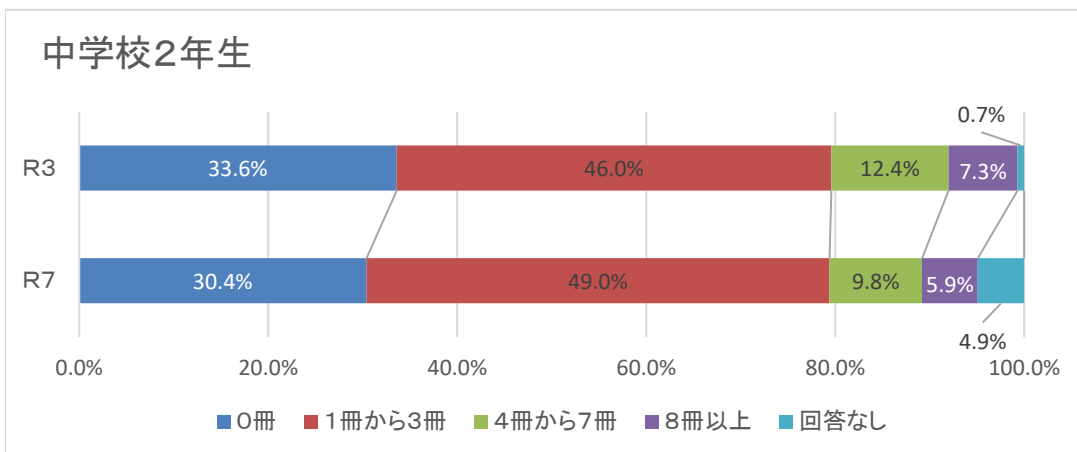
【小学校6年生】

項目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
0冊	11人	10.8%	6.5%
1冊から3冊	39人	38.2%	59.3%
4冊から7冊	36人	35.3%	17.9%
8冊以上	16人	15.7%	16.3%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	102人	100.0%	100.0%



【中学校2年生】

項目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
0冊	31人	30.4%	33.6%
1冊から3冊	50人	49.0%	46.0%
4冊から7冊	10人	9.8%	12.4%
8冊以上	6人	5.9%	7.3%
回答なし	5人	4.9%	0.7%
合計	102人	100.0%	100.0%



■ 「月に0冊（ほとんど読まない）」という子どもは、小学3年生で「6.7%」、小学6年生で「10.8%」、中学2年生で「30.4%」と、前回調査と比較して小学6年生は「4.3ポイント」の増加であったのに対し、中学2年生は、「3.2ポイント」の減少となっている。

■ 中学生の不読率は前回より減少しているが、全国に比べ、中学生の不読率が高い傾向にあるため、中学生を対象とした読書推進の取組強化が求められる。

4 ほとんど本を読まない理由は何ですか？（前の質問で「0冊」と答えた人が回答。）

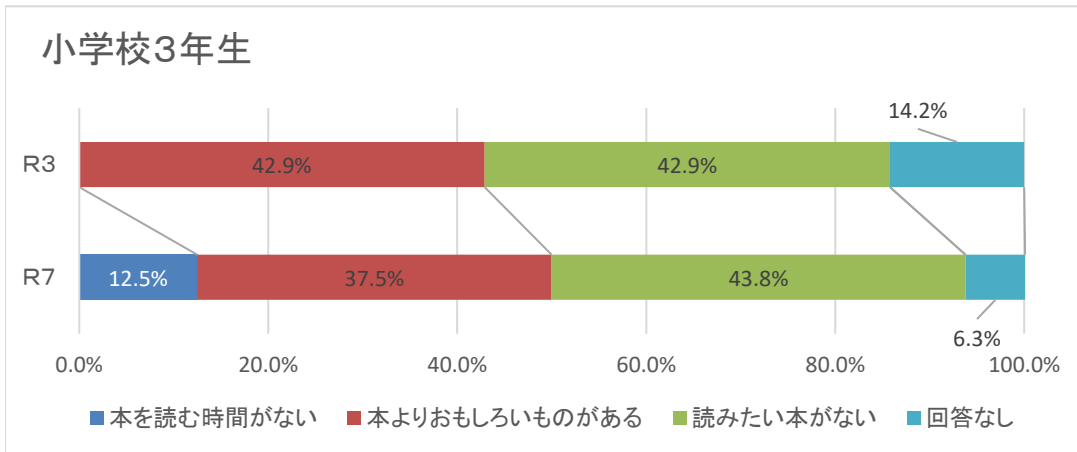
－複数回答－

【小学校3年生】

項目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
本を読む時間がない	2人	12.5%	0.0%
本よりおもしろいものがある	6人	37.5%	42.9%
読みたい本がない	7人	43.8%	42.9%
その他	0人	0.0%	0.0%
回答なし	1人	6.3%	14.3%
合計	16人	100.0%	100.0%

《『本より面白いものがある』主な理由》

○インターネット ○友達と遊ぶ



【小学校6年生】

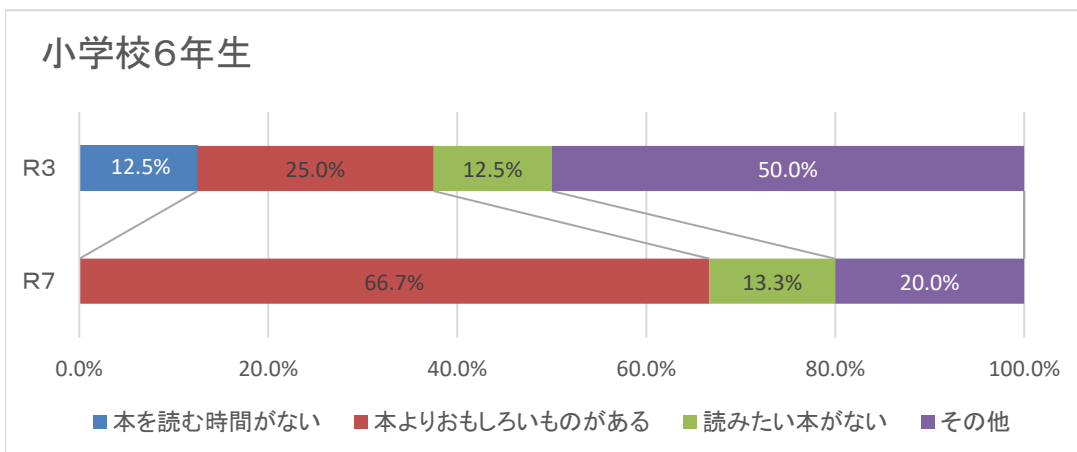
項目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
本を読む時間がない	0人	0.0%	12.5%
本よりおもしろいものがある	10人	66.7%	25.0%
読みたい本がない	2人	13.3%	12.5%
その他	3人	20.0%	50.0%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	15人	100.0%	100.0%

《『本より面白いものがある』主な理由》

○インターネット ○友達と遊ぶ

《『その他』主な理由》

○字を読むのが面倒くさい



【中学校2年生】

項目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
本を読む時間がない	11人	14.7%	24.5%
本よりおもしろいものがある	34人	45.3%	38.8%
読みたい本がない	18人	24.0%	28.6%
その他	12人	16.0%	8.1%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	75人	100.0%	100.0%

《『本を読む時間がない』主な理由》

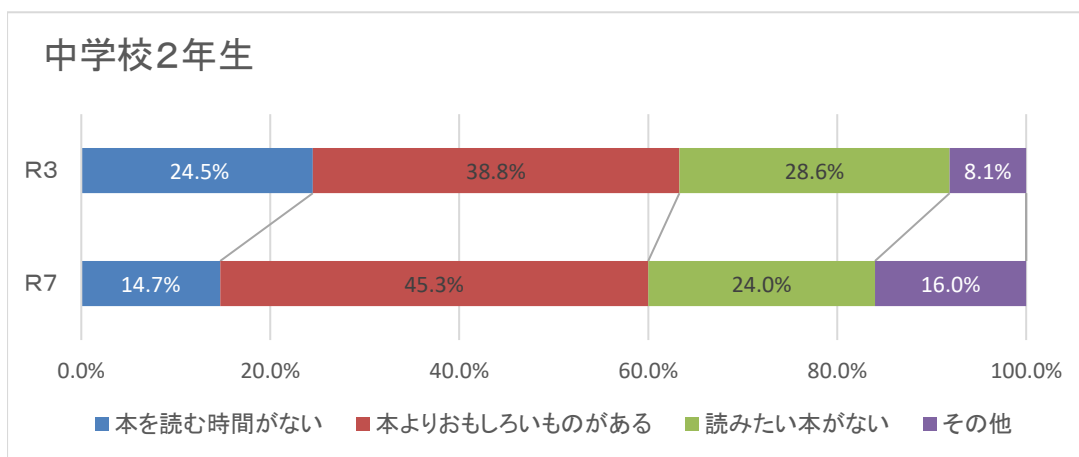
○部活や習い事 ○字を読むのが面倒 ○本を読みたくない

《『本より面白いものがある』主な理由》

○友達と遊ぶ ○スマホ ○マンガ
○インターネット ○ゲーム

《『その他』主な理由》

○字を読むのが面倒くさい ○わからない



■ひと月に読む本が「0冊」と回答した人に理由を尋ねたところ、小学3年生・6年生・中学2年生とも「本より面白いものがある」が多く、スマートフォンの普及などにより、動画鑑賞など様々なコンテンツがあらわれている現在の状況を映し出す結果となっている。特に小学校6年生では、前回に比べ41.7ポイント増加しており、スマートフォン等のオンライン端末の普及の影響が小学生に及んできていると考えられる。

■小学3年生で「読みたい本がない」は43.8%で一位となっている。このように回答した子どもたちにも、興味を抱かせる「読みたい本」は必ずあるはずであり、「読みたい本」にどのように出会ってもらうかが課題となる。

5 本を読むのはどうしてですか？（「2」の質問で「1冊以上読む」と答えた人が回答。）

— 複数回答 —

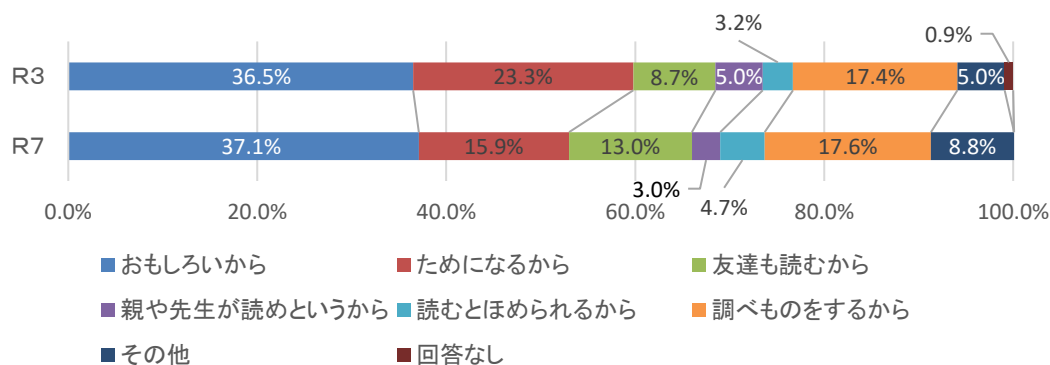
【小学校3年生】

項目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
おもしろいから	63人	37.1%	36.5%
ためになるから	27人	15.9%	23.3%
友達も読むから	22人	12.9%	8.7%
親や先生が読めというから	5人	2.9%	5.0%
読むとほめられるから	8人	4.7%	3.2%
調べものをするから	30人	17.6%	17.4%
その他	15人	8.8%	5.0%
回答なし	0人	0.0%	0.9%
合計	170人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な理由》

○物語が面白いから ○勉強のため ○落ち着くから

小学校3年生



【小学校6年生】

項目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
おもしろいから	63人	42.6%	39.8%
ためになるから	31人	20.9%	24.6%
友達も読むから	11人	7.4%	5.2%
親や先生が読めというから	11人	7.4%	10.4%
読むとほめられるから	1人	0.7%	1.4%
調べものをするから	22人	14.9%	10.0%
その他	9人	6.1%	8.1%
回答なし	0人	0.0%	0.5%
合計	148人	100.0%	100.0%

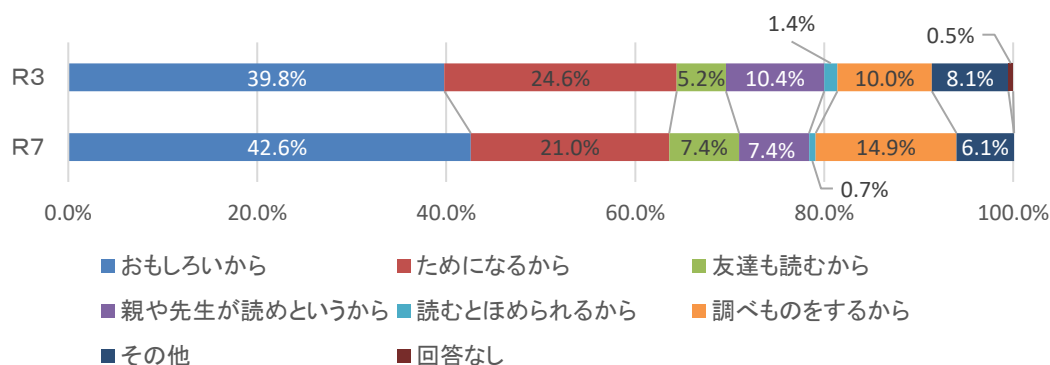
《『その他』の主な理由》

- 本屋や図書館にたくさん置いてあるから
- 夢中になるから
- 暇つぶしに読めるから

- 時間を忘れられるから
- 本が好きだから
- 家にあるから

- 本を読まなきゃいけないから
- 朝の時に必ず読むから

小学校6年生



【中学校2年生】

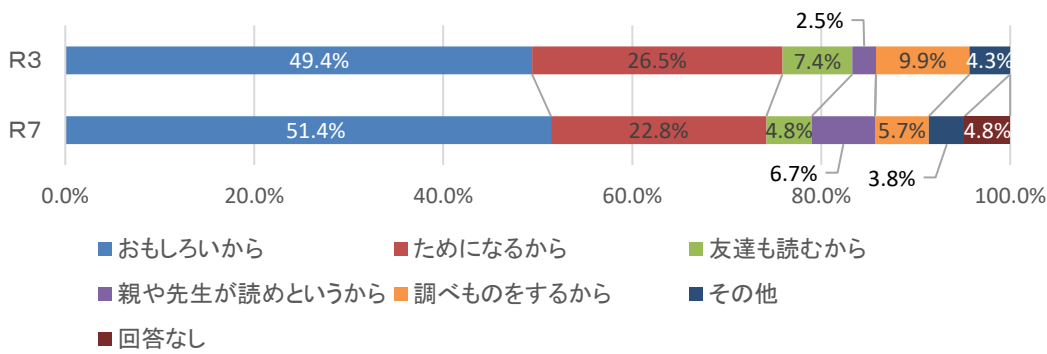
項目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
おもしろいから	54人	51.4%	49.4%
ためになるから	24人	22.9%	26.5%
友達も読むから	5人	4.8%	7.4%
親や先生が読めというから	7人	6.7%	2.5%
読むとほめられるから	0人	0.0%	0.0%
調べものをするから	6人	5.7%	9.9%
その他	4人	3.8%	4.3%
回答なし	5人	4.8%	0.0%
合計	105人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な理由》

- 映画と原作の内容の違いを知るため
- 展開が気になるから

- 興味のある本があったから（野球の本）
- 学習教室で読む

中学校2年生



■ひと月に読む本が「1冊以上」と答えた人に、本を読む理由を尋ねたところ、どの学年においても、「おもしろいから」、「ためになるから」との回答が上位にきており、半数以上の割合を占めている。ほかの理由比べ、内発的な動機であり、本を読むこと自体が目的化していることから、読書が習慣化していることが伺える。

6 あなたはどんな本が好きですか？（全員回答）

— 複数回答 —

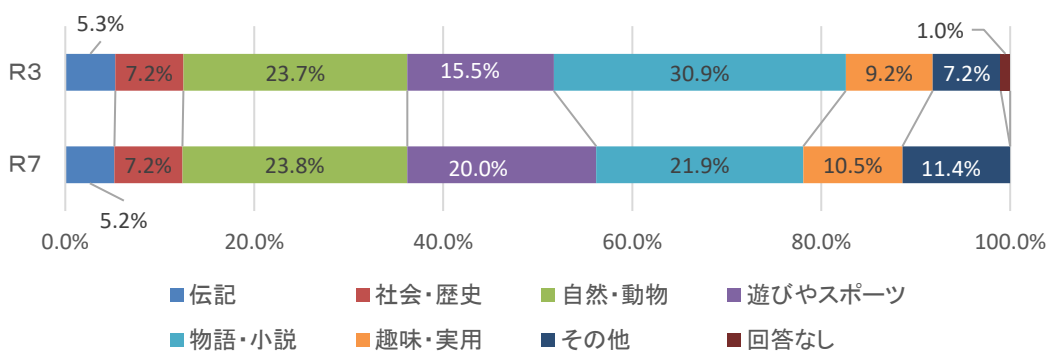
【小学校3年生】

項目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
伝記	11人	5.2%	5.3%
社会・歴史	15人	7.1%	7.2%
自然・動物	50人	23.8%	23.7%
遊びやスポーツ	42人	20.0%	15.5%
物語・小説	46人	21.9%	30.9%
趣味・実用	22人	10.5%	9.2%
その他	24人	11.4%	7.2%
回答なし	0人	0.0%	1.0%
合計	210人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

- 怖い本
- 科学の本
- は中類
- 絵本
- 間違い探し
- アニメの本
- 図鑑
- 都市伝説
- 子供の本
- 星と星座 宇宙
- ことわざ、漢字
- おばあちゃんが買ってくれた本
- 漫画、ゲーム本
- 算数の本
- 食べ物、料理

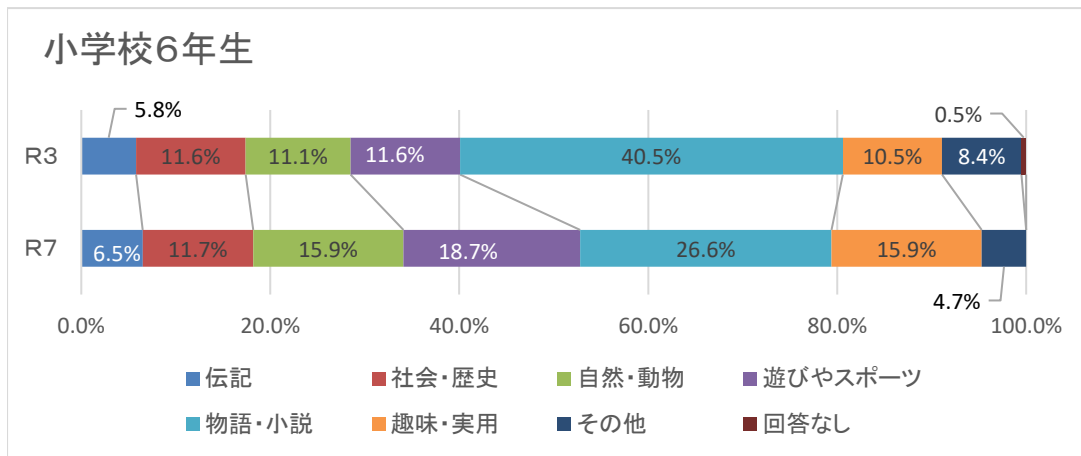
小学校3年生



項目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
伝記	14人	6.5%	5.8%
社会・歴史	25人	11.7%	11.6%
自然・動物	34人	15.9%	11.1%
遊びやスポーツ	40人	18.7%	11.6%
物語・小説	57人	26.6%	40.5%
趣味・実用	34人	15.9%	10.5%
その他	10人	4.7%	8.4%
回答なし	0人	0.0%	0.5%
合計	214人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

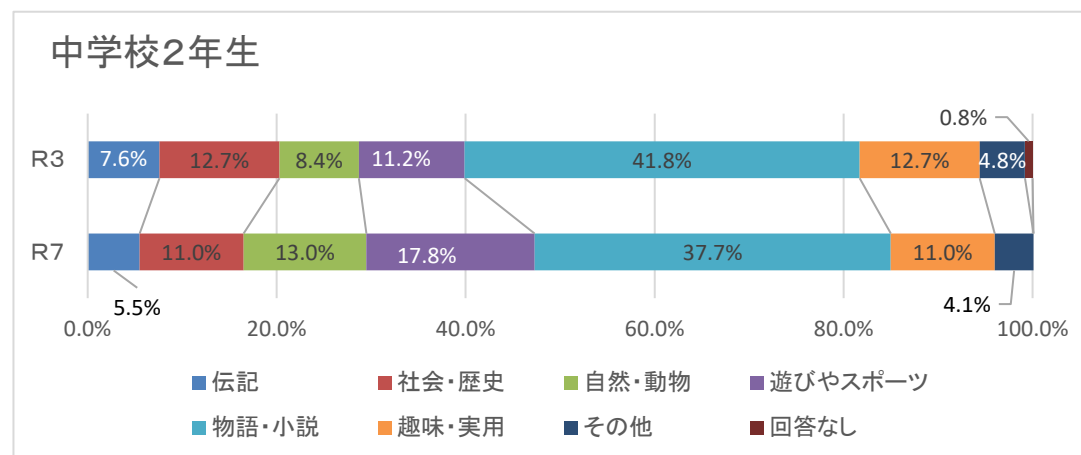
- クラフト ○漫画 ○落語 ○絵の描き方
○ホラー



項目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
伝記	8人	5.5%	7.6%
社会・歴史	16人	11.0%	12.7%
自然・動物	19人	13.0%	8.4%
遊びやスポーツ	26人	17.8%	11.2%
物語・小説	55人	37.7%	41.8%
趣味・実用	16人	11.0%	12.7%
その他	6人	4.1%	4.8%
回答なし	0人	0.0%	0.8%
合計	146人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

- 漫画 ○野球の本 ○恋愛 ○小説



■子どもたちに、どんな本が好きかを尋ねたところ、前回の調査に比べ低下傾向にあるものの、「物語・小説」が人気があり、子どもたちが「漫画」や「アニメ」とは違う魅力を感じていることがわかる。

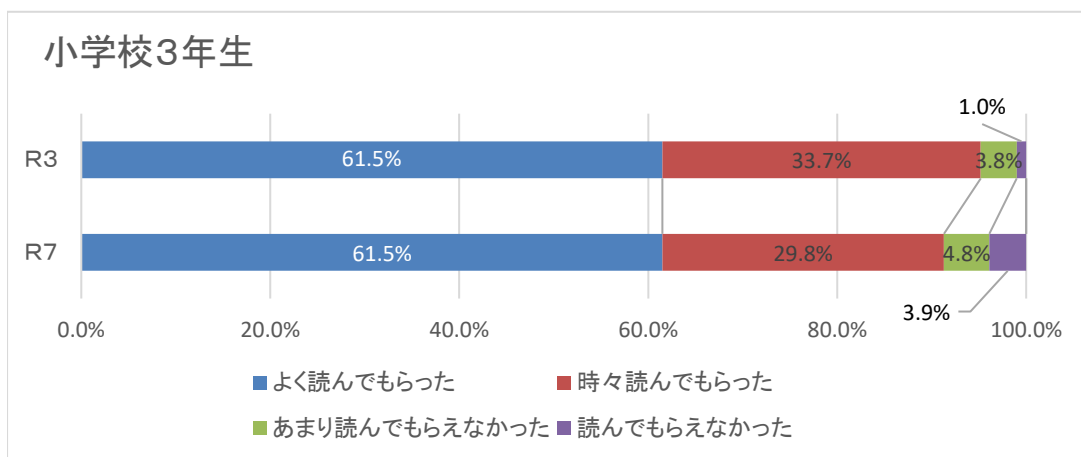
■どの学年においても「遊びやスポーツ」が増加傾向にある。

■全体的に、偏りがみられず、多様なジャンルが選ばれているため、学校図書館、市立図書館の蔵書においても幅広いジャンルが求められる。

7 あなたは周りの人に本を読んでもらったことがありますか？（全員回答）

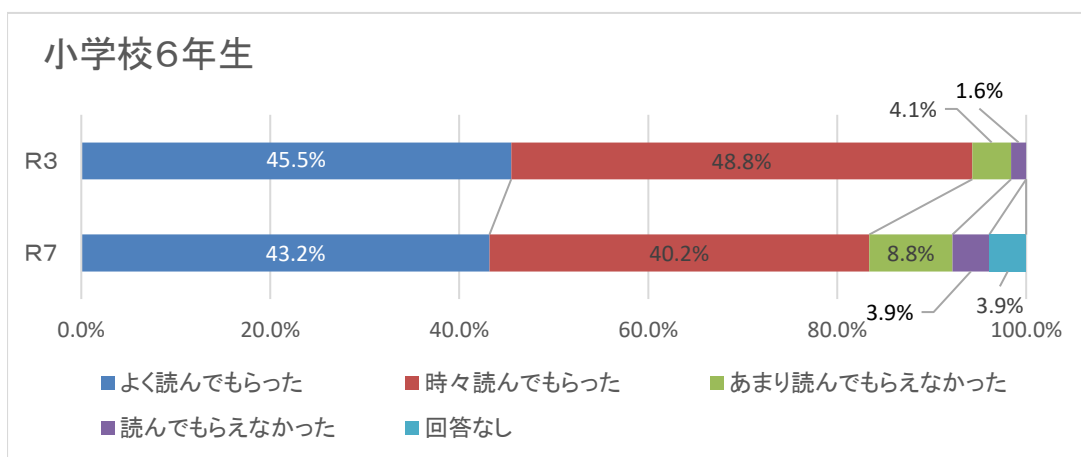
【小学校3年生】

項目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
よく読んでもらった	64人	61.5%	61.5%
時々読んでもらった	31人	29.8%	33.7%
あまり読んでもらえなかった	5人	4.8%	3.8%
読んでもらえなかった	4人	3.9%	1.0%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	104人	100.0%	100.0%



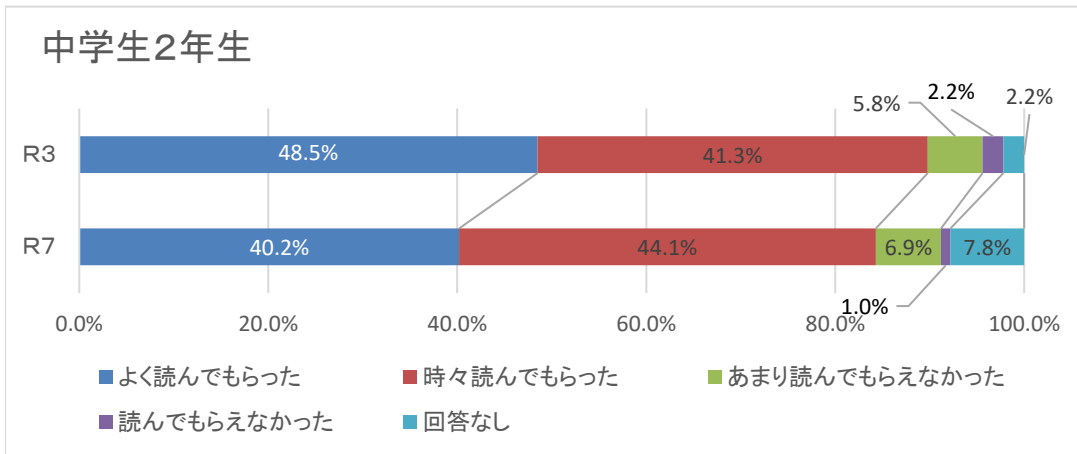
【小学校6年生】

項目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
よく読んでもらった	44人	43.2%	45.5%
時々読んでもらった	41人	40.2%	48.8%
あまり読んでもらえなかった	9人	8.8%	4.1%
読んでもらえなかった	4人	3.9%	1.6%
回答なし	4人	3.9%	0.0%
合計	102人	100.0%	100.0%



【中学校2年生】

項目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
よく読んでもらった	41人	40.2%	48.5%
時々読んでもらった	45人	44.1%	41.3%
あまり読んでもらえなかった	7人	6.9%	5.8%
読んでもらえなかった	1人	1.0%	2.2%
回答なし	8人	7.8%	2.2%
合計	102人	100.0%	100.0%



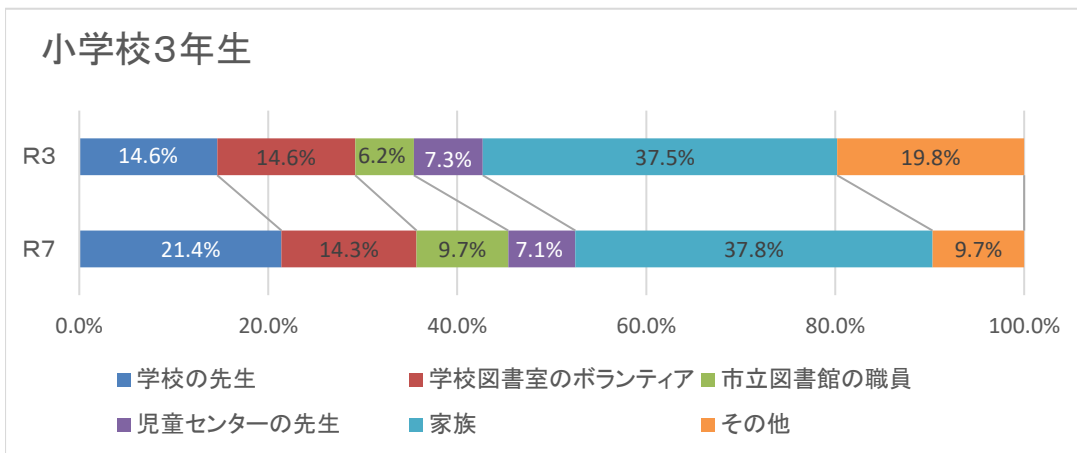
8 誰に本を読んでもらいましたか？（読んでもらったことがある人への質問）
— 複数回答 —

【小学校3年生】

項目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
学校の先生	42人	21.4%	14.6%
学校図書室のボランティア	28人	14.3%	14.6%
市立図書館の職員	19人	9.7%	6.2%
児童センターの先生	14人	7.1%	7.3%
家族	74人	37.8%	37.5%
その他	19人	9.7%	19.8%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	196人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

- 幼稚園、保育園の先生
- 言葉の先生
- 児童センターの出張お話し会
- 友達
- 叔母さん
- ない



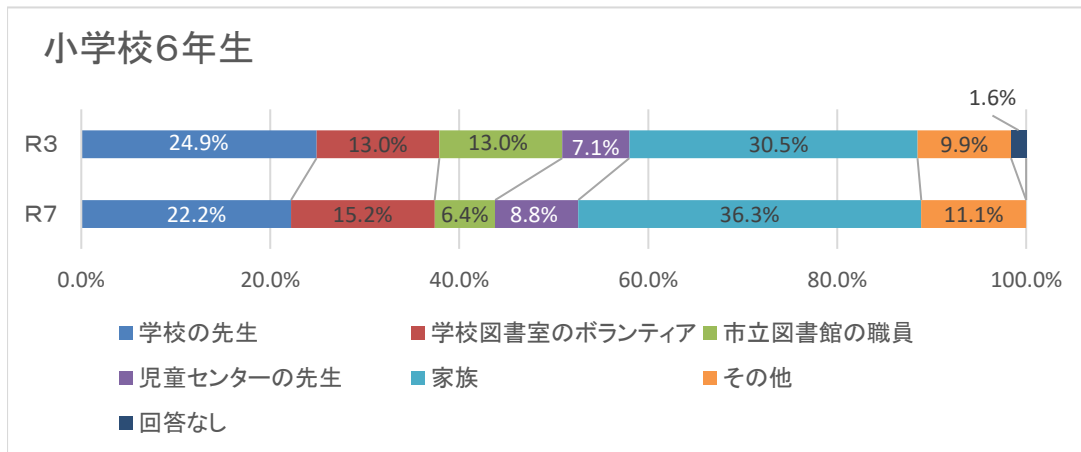
項目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
学校の先生	38人	22.2%	24.9%
学校図書室のボランティア	26人	15.2%	13.0%
市立図書館の職員	11人	6.4%	13.0%
児童センターの先生	15人	8.8%	7.1%
家族	62人	36.3%	30.4%
その他	19人	11.1%	9.9%
回答なし	0人	0.0%	1.6%
合計	171人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

○幼稚園、保育園の先生

○友達

○おばあちゃん

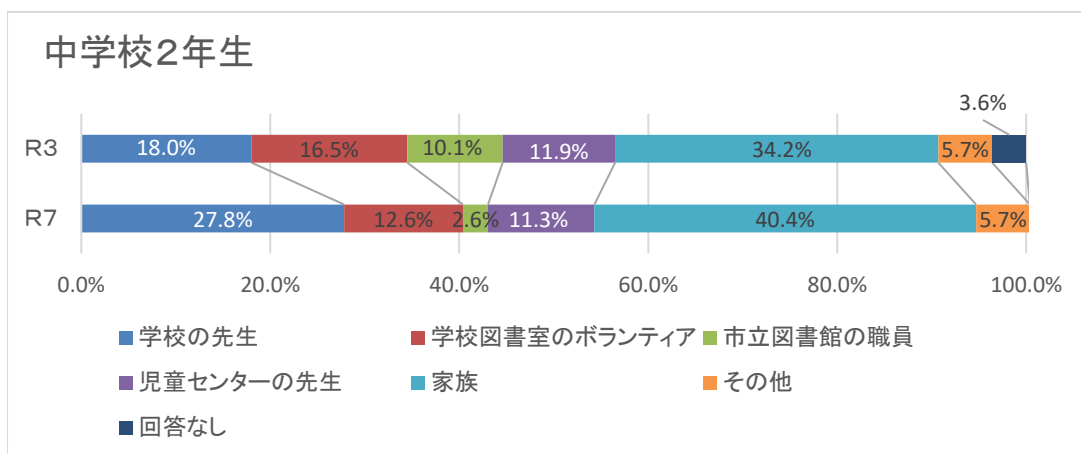


項目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
学校の先生	42人	27.8%	18.0%
学校図書室のボランティア	19人	12.6%	16.5%
市立図書館の職員	4人	2.6%	10.1%
児童センターの先生	17人	11.3%	11.9%
家族	61人	40.4%	34.2%
その他	8人	5.7%	5.7%
回答なし	0人	0.0%	3.6%
合計	151人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

○保育園、幼稚園の先生

○こころるの先生



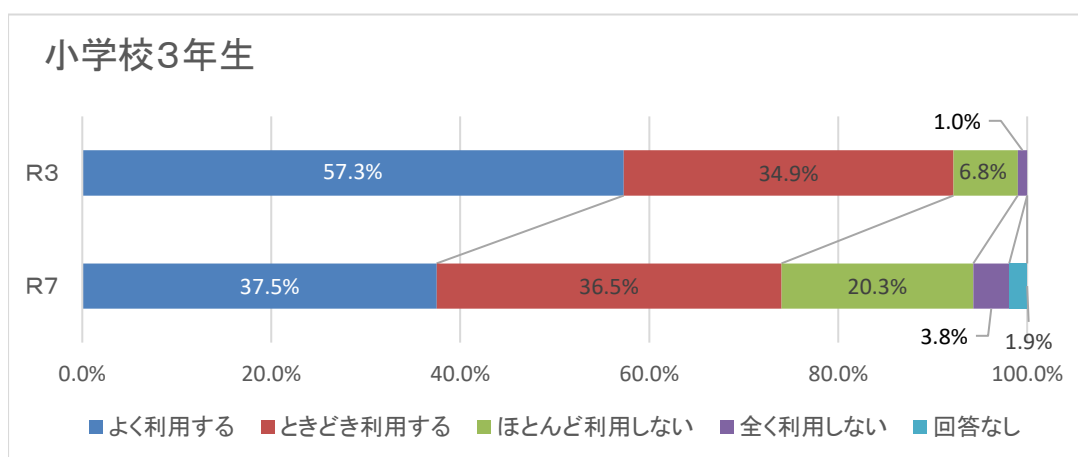
■前回調査と同様にほとんどの子どもたちが、本を読んでもらった経験をしているが、小学生においては、「読んでもらえなかった」と回答した割合が僅かながら増加している。

■「家族」に読んでもらった割合が多く、4割近い子どもたちが家族から本を読んでもらった経験をしており、9ヶ月児検診の際に、参加したすべての赤ちゃんと保護者に絵本などをプレゼントし、読み聞かせの大切さを伝える「ブックスタート事業」を継続して実施しており、これも要因の一つと考えられる。

9 あなたは学校図書館や学級文庫をどのくらい利用しますか？

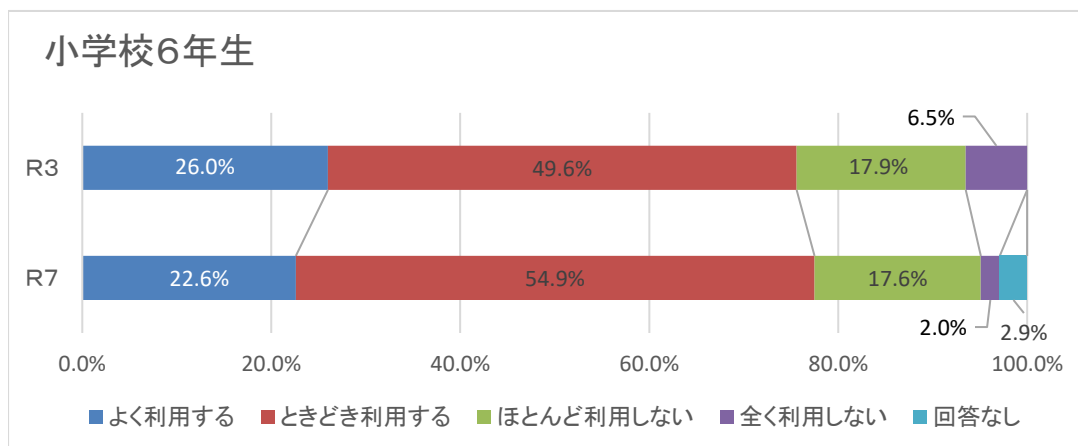
【小学校3年生】

項目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
よく利用する	39人	37.5%	57.3%
ときどき利用する	38人	36.5%	35.0%
ほとんど利用しない	21人	20.3%	6.8%
全く利用しない	4人	3.8%	1.0%
回答なし	2人	1.9%	0.0%
合計	104人	100.0%	100.0%



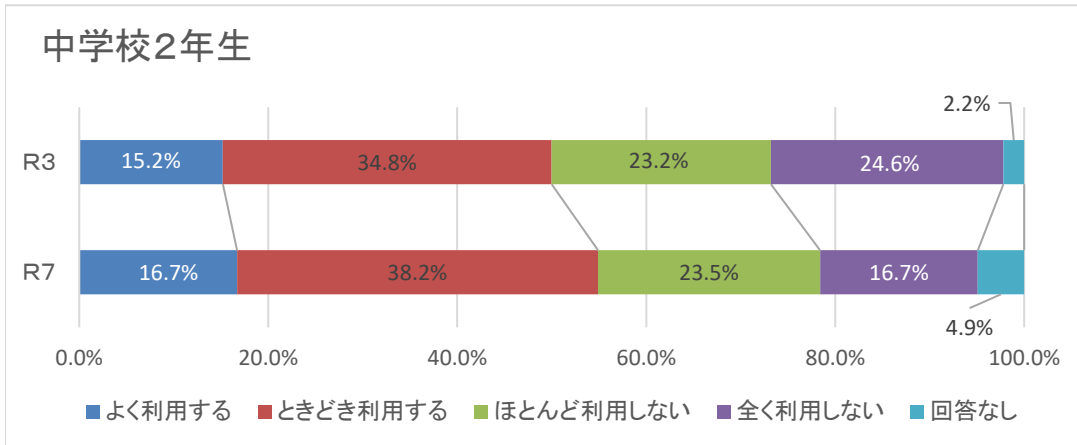
【小学校6年生】

項目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
よく利用する	23人	22.6%	26.0%
ときどき利用する	56人	54.9%	49.6%
ほとんど利用しない	18人	17.6%	17.9%
全く利用しない	2人	2.0%	6.5%
回答なし	3人	2.9%	0.0%
合計	102人	100.0%	100.0%



【中学2年生】

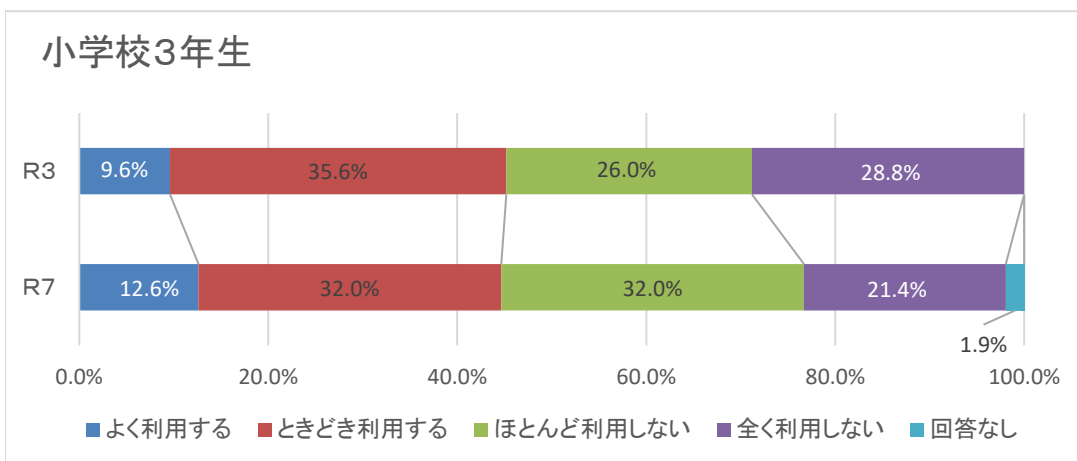
項 目	回答数	今回 構成比	今回 構成比
よく利用する	17人	16.7%	15.2%
ときどき利用する	39人	38.2%	34.8%
ほとんど利用しない	24人	23.5%	23.2%
全く利用しない	17人	16.7%	24.6%
回答なし	5人	4.9%	2.2%
合計	102人	100.0%	100.0%



10 あなたは市立図書館をどのくらい利用しますか？

【小学校3年生】

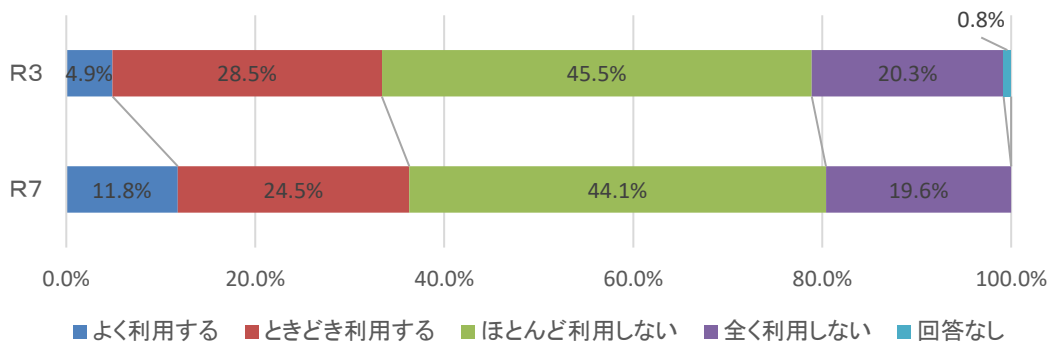
項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
よく利用する	13人	12.5%	9.6%
ときどき利用する	33人	31.7%	35.6%
ほとんど利用しない	33人	31.7%	26.0%
全く利用しない	22人	21.2%	28.8%
回答なし	3人	2.9%	0.0%
合計	104人	100.0%	100.0%



【小学校6年生】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
よく利用する	12人	11.8%	4.9%
ときどき利用する	25人	24.5%	28.5%
ほとんど利用しない	45人	44.1%	45.5%
全く利用しない	20人	19.6%	20.3%
回答なし	0人	0.0%	0.8%
合計	102人	100.0%	100.0%

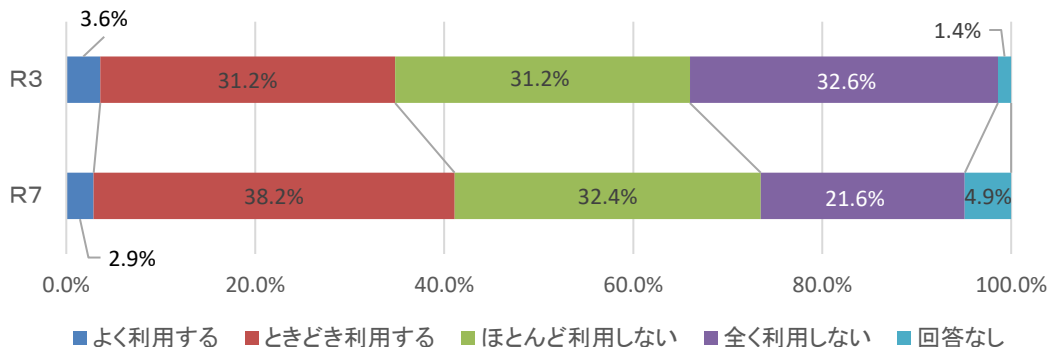
小学校6年生



【中学2年生】

項目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
よく利用する	3人	2.9%	3.6%
ときどき利用する	39人	38.2%	31.2%
ほとんど利用しない	33人	32.4%	31.2%
全く利用しない	22人	21.6%	32.6%
回答なし	5人	4.9%	1.4%
合計	102人	100.0%	100.0%

中学校2年生



■学校図書館や学校文庫の利用については、「よく利用する」と回答した人の割合は小学校3年生において前回調査に比べ19.8ポイント減の37.5%となっており、学年が上がるにつれて、減少していく傾向は前回と同様だったが、「よく利用する」と「ときどき利用する」の合計は、小学生では7割、中学生では5割を超える結果となっている。

■市立図書館の利用については、全学年において「よく利用する」「ときどき利用する」の合計が、前回調査と同様に低い状況であり、子どもたちに市立留萌図書館を利用してもらえるかが大きな課題となっている。

11 あなたはどうすれば、もっと本を読むことができる（好きになる）と思いますか？

【小学校3年生】

1	自分でも本をつくってみる
2	もっと本を読む
3	読んだことがない本を読む
4	近くに置いておく
5	自分が好きな本を読む
6	毎日こつこつ本を読む
7	みんなと仲良く本を読んだら楽しいから
8	興味を持つ
9	友達と一緒に読む
10	新しい本が出る度、家に届く
11	本を読むことを意識する
12	毎日夜2冊はできるだけ分厚い本を読む。
13	漫画を多く読む
14	家に保管しているからいつでも読める
15	自分であんまり読まないけど友達とは読みたい
16	アニメとかの「」（かっこ）がついている言葉を読むのが大好きです。
17	中～高の漢字図鑑があまりないから、もうちょっと多かったら好きになるかもしれない。
18	もっと絵本を読んだら好きになれると思う。
19	友達の誰かが「面白かった」と言ってくれたら読みたいになりそう
20	とっくのとうに好き
21	楽しい本がたくさんあれば、みんな好きになると思います。
22	自分の興味のある本をたくさん読んだらいいと思います。
23	物語の本を毎日読めば好きになると思う。
24	暇な時間を作る
25	ヨンデミー先生（アプリ）のオススメの本をたくさん読んでいきたいです。
26	図書館で週に一回読み聞かせをすればいいと思います。
27	朝の活動で図書室から借りて読んだりしたらいいと思います。
28	本を探してたくさん読んだらいい
29	勉強で生き物を調べていてみんなも生き物を調べたら好きになると思います。
30	「読もう」と言われたら読む
31	好きな本がたくさんあると（読む）
32	いろいろな本を読む

【小学校6年生】

1	図書館に行っていっぱい本を読む
2	もう少し自分の好きな事（バスケ）についての本を増やしてほしい。
3	物語の内容が面白くなって文字が少し小さかったら読む
4	自分の好きな物語を見つけて面白い本を読めばいい。
5	登場人物の気持ちを考えて読む
6	表紙が面白そうな本
7	色んな事に挑戦する
8	本が読んでくれるという機能
9	臨場感が持てる
10	もっと本を読む時間などを増やしてほしい。
11	好みの本を用意してくれたら嬉しい
12	本について調べる
13	読書会をする
14	本を売っているお店にそれぞれの本の魅力を書いてほしいです
15	朝読書の時間を10分じゃなくて15分にすればいいと思う
16	図書館のおすすめの本を月2回くらい学校に置いてくれると少し本に興味を持てると思う。
17	静かな環境があれば読む
18	教科書に載っている人の伝記を探す
19	自分の読みたい本を図書館で見つけるともっと好きになる。
20	自分の趣味の本を見つける
21	自分の好みに合わせて読むこと
22	毎日1冊は本を読む
23	学習センターでもっと本を借りるようになる
24	本を読む時間を作る

25	気軽に読める施設があり、自分に合った本を見つけられるようになったり
26	興味の持つものについて調べられたりできればいいと思う。
27	教室の隅にある本棚に好きな本を入れられるようにしたら
28	もっと学校の本を読むようになると思う
29	迫力のある本があったらもっと好きになると思う
30	自分の興味のあるシリーズなどを場面に合わせて想像しながら読む
31	外が涼しければ、外に行く時間が増えて本をたくさん借りに行けると思います
32	もっと言葉を知る
33	最初に薄い本を読んで、次に厚い本を読めばいい
34	絵本を読む
35	勉強をたくさんしてわからないことを増やしたりするともっと読むことができると思う。
36	学校の朝の時に伝記を多く読む
37	漫画で勉強がわかると好きになる
38	好きなスポーツ等の本があればもっと読むことができる

【中学校2年生】

1	もっと面白い本を出す
2	自分の好きなジャンルを読み続ける
3	自分が気になる本、それに関連する本を見つける
4	1日1時間は読書する時間を設ける
5	色々な本を読んでもらって、読書の良さを知る
6	本を読む機会を増やす
7	本をゲームより面白くする
8	スマホを禁止にしたら暇になるから、もっと読む事になる。そのおかげでもっと本を好きになるかもしれない。
9	学校の図書館で本を読む習慣をつける
10	本の魅力をもっと伝える
11	面白い小説を増やす
12	読んでいて納得（理解）できる本が増えてほしい。
13	時間に余裕を持つ
14	読みたくなるような本の紹介をする
15	本の面白さや人気の本についてたくさん広める
16	スポーツ選手の本を増やす
17	強制的に読ませる
18	積極的に本を読みに行く
19	本の面白さを知る
20	野球の本があれば読むと思うから、そういう本を増やせば読むと思う
21	朝読書以外にもそういう時間を作って、少しずつ継続できるようにする
22	図書館に行ってみて、気になった本をとりあえず借りてみる
23	好みの本が見つければ読む
24	本を読む楽しさなどを周りに広める
25	自分が興味のある題材の本を沢山読むこと
26	たくさんの本に出会う
27	起きたら読書する時間を作る
28	面白いストーリーが増えたら読む
29	ほんの少し値段が安くなれば
30	スマホを遠ざける
31	自分の好きな作家を見つける
32	おすすめの本を紹介しているガイドブックで面白い本を見つけて読む
33	毎日ちょっとでもいいから本を読む

発行 留萌市教育委員会
策定 令和8年 月

〒077-0031 留萌市幸町 1 丁目 14 番地
電話 0164-42-0435
FAX 0164-43-6312
E-mail syougaiagakusyu@e-rumoi.jp